L-03C

取扱説明書　'10.12

docomo PRO series

ドコモ　W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式

このたびは、「docomo PRO series L-03C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
L-03C をご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

L-03C の操作説明について

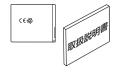
L-03C の操作は、本書のほかに「使いかたガイド」（本 FOMA 端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDF ファイル）で説明しています。

■ **「取扱説明書」（本書）：画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明**

■ **「使いかたガイド」（本 FOMA 端末に搭載）：よく使われる機能の概要や操作について説明**
L-03C から　MENU ▶「使いかたガイド」

■ **「取扱説明書（詳細版）」（PDF ファイル）：すべての機能の詳しい案内や操作について説明**
パソコンから　ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

L-03C 本体（保証書を含む）	電池パック L09	取扱説明書（本書）	L-03C 用 CD-ROM	FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 ※1（保証書を含む）	イヤホンジャック変換アダプタ L01	データ通信用 USB ケーブル（試供品）	microSD カード（2GB）（試供品）※2	ストラップ（試供品）

※ 1　FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 は充電専用です。データ通信を行う場合はデータ通信用 USB ケーブル（試供品）をご使用ください。また、充電を行う場合は FOMA AC アダプタ 01 ／ 02 などが必要です。
※ 2　お買い上げ時、microSD カードはあらかじめ携帯電話に取り付けられています。
　本 FOMA 端末に対応したオプション品について→ P93

- 本書では、「L-03C」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書では、主にお買い上げ時の状態（メニュータイプの「ラインスクロール」設定時）で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

目　次

FOMA 端末について

- FOMA 端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 大切なデータは microSD カードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイ datalink を利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様は SSL/TLS をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様による SSL/TLS のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL/TLS の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMO グローバルサイン株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- この FOMA 端末は、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA 端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

L-03C でできること

使いかたガイド→ P34

使いたい機能の操作方法を FOMA 端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

カメラ機能→ P44

有効画素数約 1210 万画素のカメラ(記録画素数約 1200 万画素)を使って、静止画(オートフォーカス対応)を光学 3 倍ズームで撮影したり、HD 動画などの動画を撮影したりすることもできます。

国際ローミング→ P54

日本国内でお使いの FOMA 端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます(3G・GSM エリアに対応)。

i モード→ P65

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash® Video や Windows Media® Video にも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。

フルブラウザ→ P67

i モードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じように FOMA 端末で表示することができます。

i チャネル→ P69

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

Bluetooth 通信→ P76

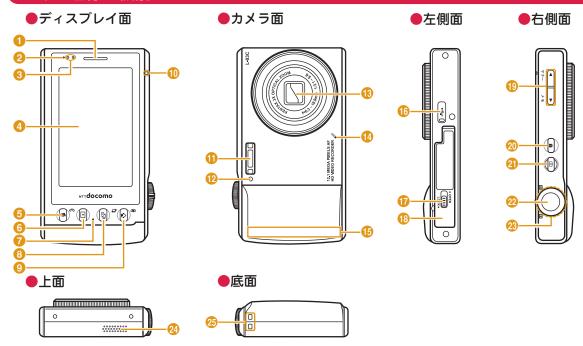
Bluetooth 対応の機器と電話帳データの送受信をしたり、Bluetooth 対応のハンドセットなどを使用したりできます。

Google → P77

Google を使ってサイトを検索したり、YouTube、Picasa などを利用したりできます。

各部の名称と機能

●ディスプレイ面
●カメラ面
●左側面
●右側面
●上面
●底面
NTT docomo
L-03C
PENTAX 3X OPTICAL ZOOM
1:3.1~5.6
f=6.3~18.9mm
12.1 MEGA PIXELS AF
HD VIDEO RECORDER
OPEN
LOCK
マナー
メモ

❶ **受話口**

❷ **充電ランプ**
着信時なども点灯／点滅します。

❸ **近接センサー**

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❺ **開始キー**
電話をかけます／受けます。
アルバム表示画面で押すとファイルが削除されます。

❻ **アルバム表示キー**
撮影した静止画／動画を表示します。

❼ **送話口**

❽ **マルチタスクキー／静止画／動画切替キー**
マルチタスク画面を表示します。
カメラモードで押すとフォトモードとビデオモードを切り替えます。

❾ **電源／終了キー**
通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。

❿ **撮影ランプ（ディスプレイ面）**

⓫ **フラッシュ**

⓬ **撮影ランプ（カメラ面）**

⓭ **カメラ**

⓮ **マイク**

⓯ **FOMA アンテナ**
FOMA アンテナは本体に内蔵されています。

⓰ **microUSB 接続端子**

⓱ **電池パックカバーレバー**

⓲ **電池パックカバー**

⓳ **（マナー）（メモ）音量キー**
音量の調節などに使います。
フルブラウザのページを拡大／縮小します。

⓴ **ロックキー**
ロック状態に設定／解除します。

㉑ **モード切替キー**
ケータイモードとカメラモードを切り替えます。

㉒ **シャッターキー**
静止画や動画を撮影するときに押します。

㉓ **ズームホイール**
静止画や動画を撮影するときに倍率を変更します。

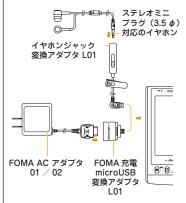
㉔ **スピーカー**

㉕ **ストラップ取り付け穴**

ケータイモードとカメラモードとは

ケータイモードとは、一般的なケータイの機能を使用するときのモードです。
カメラモードとは、静止画／動画を撮影したり、撮影した静止画／動画のアルバムをプレビューしたりするときのモードです。

イヤホンのご利用について

イヤホンジャック変換アダプタ L01 を接続※してください。
FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01（充電）およびイヤホンジャック変換アダプタ L01 の差込口が共通になっております。

例：イヤホンジャック変換アダプタ L01 と FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 の接続

※ イヤホンで音声を聞く場合はステレオミニプラグ（3.5 φ）対応のイヤホンが必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子やmicroUSB接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

ライトの発行部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカードの差し込み口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA 端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを FOMA 端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した FOMA 端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

ストラップなどを持ってFOMA 端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA 端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションコントロールのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（プラスチックパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P15「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

AC アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

DC アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な AC アダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC アダプタ：AC100V
DC アダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能な AC アダプタ：
AC100 ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指定の変換アダプタを取り付けて充電してください。
指定の変換アダプタ以外を使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
変換アダプタ：FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01

DC アダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

AC アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMA カードの取り扱いについて

⚠ 注意

FOMA カードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には FOMA 端末を持ち込まないでください。

●病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA 端末の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	
ディスプレイ面	アルミニウム／SANDBLAST＋ANODIZING
ディスプレイ面（取っ手部）	PC／EUREKA LAC＋EUREKA THANE＋EUREKA RUBBER
左側面	ポリカーボネート＋グラスファイバー／UVコーティング
右側面	ポリカーボネート＋グラスファイバー／UVコーティング
カメラ面	アルミニウム／SANDBLAST＋ANODIZING
カメラ部（飾り枠）	PC／UVコーティング
カメラ部（ベース）	アルミニウム／ANODIZING
カメラ部（レンズ飾り枠）	アルミニウム／SANDBLAST＋ANODIZING
カメラ面（取っ手部）	PC／EUREKA LAC＋EUREKA THANE＋EUREKA RUBBER

使用箇所	材質／表面処理
操作キー	PC／UVコーティング
音量キー	PC／UVコーティング
ロックキー／モード切替キー	PC／UVコーティング
ズームホイール	PC／UVコーティング
シャッターキー	PC／UVコーティング
USB接続端子部	
USB接続端子	ステンレス鋼
USB接続端子カバー	PC／UVコーティング
ディスプレイパネル	強化ガラス／BOTTOM PRINTING
キャップ（バッテリーカバー部）	SILICONE
カメラランプ（ディスプレイ面）	PC
カメラ部（保護シャッター）	ポリカーボネート＋グラスファイバー
フラッシュ	アクリル
カメラランプ（カメラ面）	PC
バッテリーカバーレバー	POM
電池カバー（表面）	PC／UVコーティング
電池カバー（裏面）	Mg／UVコーティング
電池収納面	Mg／UVコーティング

使用箇所	材質／表面処理
ネジ	カーボン・スチール／亜鉛メッキ
ネジキャップ	PC／BOTTOM PRINTING
フレーム	Mg＋（PPA＋GF50%）／UVコーティング
電池パック	
電池パック本体	PC Injection
シール部	PE
端子部	リン青銅＋Niメッキ＋Auメッキ
microSDカード取り付け部	
ガイド	ステンレス鋼
固定部	LCP 6040GM-MD
金属端子部	Corson Alloy
FOMAカード取り付け部	
ガイド	ステンレス鋼
固定部	LCP resin
金属端子部	Corson Alloy

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**

FOMA 端末、電池パック、アダプタ、FOMA カードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **FOMA 端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を microUSB 接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA 端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**

温度は 5℃～ 35℃、湿度は 45% ～ 85% の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本 FOMA 端末は精密な光学機器を使用しています。FOMA 端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **microUSB 接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ カメラを使用しない場合は必ずケータイモードに切り替えてレンズを収納してください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ カメラのレンズカバーを触らないでください。

レンズの汚れ、故障の原因となります。

■ 通常は microUSB 接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ 電池パックカバーを開けたまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。

故障、破損、誤動作の原因となります。

■ microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、FOMA 端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどを FOMA 端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ FOMA 端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ 電池パックは消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■ 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。

- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が 2 本、または残量が 40 パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■ FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

■ FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

故障の原因となります。

■ FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。

故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ FOMA端末では、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ※1、シリアルポート※2を利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。

※1 オブジェクトプッシュでは、電話帳データのみ送受信が利用できます。

※2 シリアルポートでは、LG On-Screen Phone（OSP）のみが利用できます。

■ 周波数帯について

FOMA 端末の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4FH1

2.4	：2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH	：変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m 以下であることを示します。
■■■	：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■ 改造された FOMA 端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

FOMA 端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊙」が FOMA 端末の銘版シールに表示されております。
FOMA 端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ Bluetooth 機能は日本国内で使用してください。

FOMA 端末の Bluetooth 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

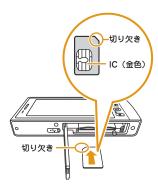
FOMA カード・電池パックの取り付けかた

FOMA カードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されている IC カードです。

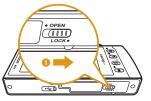
- FOMA 端末の電源を切り、手に持って行ってください。

1 電池パックカバーの電池パックカバーレバーを ❶ の方向にスライドさせる

- 電池パックカバーが開きます。

2 FOMA カードの金色の IC 面を下にして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込む

3 電池パックの端子を右奥にして、電池パックをまっすぐ押し込む

- 電池パックロックが上がるまで押し込んでください。

4 電池パックカバーを閉じて、電池パックカバーレバーを ❶ の方向にスライドさせる

Information

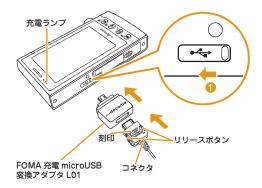
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、電池パックロックが壊れることがあります。

充電のしかた

ACアダプタを使って充電する

FOMA端末のmicroUSB接続端子カバーを開きます（❶）。ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、FOMA充電microUSB変換アダプタL01へ水平に差し込み、FOMA端末のmicroUSB接続端子へ水平に差し込みます。
ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 充電ランプが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

充電が終わったら、FOMA充電microUSB変換アダプタL01を水平に引き抜き、ACアダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。

Information

- ACアダプタのコネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると、故障の原因となります。

電源を入れる

電源を入れる

1 **電源が切れている状態で（⌂）（2秒以上）**
ウェイクアップ画面が表示された後、基本待受画面が表示されます。

基本待受画面

電源を切る

1 **電源が入っている状態で待受画面表示中に（⌂）（2秒以上）**
終了画面が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う

初めて電源を入れた後は、初期設定として「日付／時刻設定」「タッチ設定」の設定を行います。

1 電源を入れる

2 日付・時刻の設定を行う▶［次］

3 タッチ設定を行う▶［次］

4 イントロアニメーションを再生する▶「はい」／「いいえ」

5 ［ガイド終了］

6 ［OK］

自分の電話番号を確認する

FOMA カードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

- メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（i モード＜ FOMA ＞編）』をご覧ください。

1 MENU▶「自局番号」

自局番号を編集する

1 MENU▶「自局番号」▶［編集］

2 端末暗証番号を入力

3 各項目を編集▶［保存］

ディスプレイ・アイコンの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

1. 電波の受信レベルです。
   強 ←→ 弱
   サービスエリア外または電波が届かない状態です。
   圏外
2. 音声電話中です。
3. 点滅中はｉモード接続中です。
4. ｉモードセンターにｉモードメールがあります。
5. 未読のｉモードメールがあります。
6. 未読のメッセージ R/F があります。
7. Bluetooth 機能起動中です。
8. 電池残量表示です。
   ～
9. オールロック設定中です。
10. マナーモード設定中です。
11. 音声電話やテレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中です。
12. メールやメッセージ R/F の着信音が鳴らず､バイブレータが動作する状態に設定中です。
13. 公共モード（ドライブモード）を設定中です。

⑭ 伝言メモ設定中です。

⑮ 設定中のアラームがあります。

⑯ 当日のスケジュールまたは To Do があります。

⑰ microSD カード装着中です。

⑱ 音声電話やテレビ電話の発信制限を設定中です。

⑲ メールの送信制限を設定中です。

⑳ プライバシーモード設定を設定中です。

不在お知らせアイコン

アイコンに表示されている数字は件数です。

㉑ 不在着信があります。

㉒ 未読メールがあります。

㉓ 留守番電話の伝言メッセージがあります。

㉔ 伝言メモがあります。

タッチパネルの使いかた

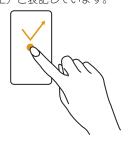
本 FOMA 端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

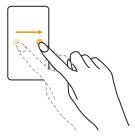
● タッチパネル利用上のご注意

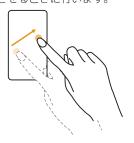
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- Flash コンテンツやサイト、インターネットホームページなどでは、一部タッチによる操作ができない場合があります。［キー表示］をタッチして、画面上に表示されたキーをタッチすることで操作を行うことができます。

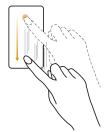
タッチパネルでの操作

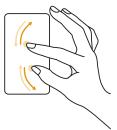
● タッチ

タッチパネルに軽く 1 回触れて離す操作を「タッチ」と呼びます。
表示されているアイコンやメニュー項目を選択したり、選択した項目を実行したりするときに行います。
また、アイコンに長く触れることで起動する機能の場合、タッチ（1 秒以上）と表記しています。

● スライド

タッチパネルに触れたまま、なぞって動かす操作を「スライド」と呼びます。
音量バーをなぞって、音量を調節するときなどに行います。

● ドラッグ

タッチパネルに触れたまま、なぞって動かして離す操作を「ドラッグ」と呼びます。
アイコンを移動させるときに行います。

● フリック

タッチパネルに軽く触れて、上下または左右にはらう操作を「フリック」と呼びます。
画面の上下に表示しきれない項目などがあるときに高速スクロールを行います。

● ピンチ

タッチパネルに触れたまま、つまんだり離したりする操作を「ピンチ」と呼びます。
ドキュメントビューアで、ドキュメントを拡大・縮小させるときに行います。

タッチパネルでの操作例

● 画面の切り替え

スケジュールなど ＜ ＞※がある場合は、＜ ＞ をタッチして前後のデータや画面に表示を切り替えられます。

※アイコンの形状は画面によって異なります。

● プルダウンメニュー

項目にプルダウンメニューがある場合は、▼ をタッチするとメニューが表示されます。

モーションコントロールの使いかた

FOMA 端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA 端末を左右に傾けたり振ったりして、画面を切り替えたりゲームで遊んだりすることができます。

縦／横画面表示を切り替える

FOMA 端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

- FOMA 端末の上部を左側に傾けた場合のみ、画面の表示が切り替わります。
- FOMA 端末の縦／横画面表示は、以下の機能で対応しています。
  - メインメニュー画面
  - フルブラウザ
  - データ BOX のピクチャ表示画面プレビュー（マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、ミュージック）
  - ミュージックプレーヤー

Information

- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA 端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。

自動的に画面を回転させる

FOMA 端末の傾きに応じて、自動的に画面が回転します。

1 MENU ▶「表示」▶「自動表示回転」の［I・O］

メニューの選択方法

FOMA 端末では、メインメニューやサブメニューなどのメニューから、機能の実行や設定、登録などの操作をします。

- メニューは機能ごとに分類されています。

メインメニューから機能を選択する

本 FOMA 端末では、メニューアイコンをタッチして機能を選択できます。また、本 FOMA 端末では、次の 3 通りのメニュータイプが選択できます。

- ラインスクロール：インデックスごとにアイコンが分類されています。
- エリアスクロール：3 画面にわたってアイコンが表示されています。
- ベーシック：1 画面に 12 個のアイコンが表示されています。

待受画面からメインメニューを呼び出し、「メニュータイプ」の設定画面を表示するまでの操作を例に、それぞれの場合の操作方法を説明します。

- デフォルトの設定は「ラインスクロール」となるため、本書では、「ラインスクロール」のメニュースタイルで機能を選択する操作で説明しています。

メインメニュー
(ラインスクロール)

メインメニュー
(エリアスクロール)

メインメニュー
(ベーシック)

● ラインスクロールのメインメニュー一覧

ラインスクロールのメニューは、「コミュニケーション」「マルチメディア」「ユーティリティ」「設定」のインデックスごとにメニューをスクロールして表示できます。

1 コミュニケーション	電話帳	i モード	i チャネル	メール	フルブラウザホーム	通話／メール履歴	ダイヤル	自局番号
2 マルチメディア	データ BOX	i アプリ	ミュージックプレーヤー	Music&Videoチャネル	Google	ドキュメントビューア	Muvee Studio	ゲーム
3 ユーティリティ	スケジュール	電卓	アラーム	使いかたガイド	Bluetooth	辞典	FOMA通信環境	その他機能
4 設定	音／バイブ／マナー	表示	ロック／セキュリティ	メニュータイプ	NWサービス	発着信／通話機能	USB モード設定	その他設定

● ラインスクロールを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2「メニュータイプ」をタッチする

● エリアスクロールを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2 メインメニューを左に 2 回スライドし、「メニュータイプ」を表示する

3「メニュータイプ」をタッチする

● ベーシックを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2「設定」をタッチし、設定画面を表示する

3「表示」をタッチし、表示画面を表示する

4「メニュータイプ」をタッチする

使用者待受画面から機能を選択する

使用者待受画面は3ページあり、ショートカット、ウィジェットのアイコンが配置されています。また、以下3種類のアイコンが追加／削除／移動できます。

・ショートカット：各メニューに短いルートでアクセスできます。
・ウィジェット　：時計やカレンダーなどのツールが利用できます。
・コンタクト　　：個別の電話帳にアクセスし、発信、メールが簡単にできます。

● 使用者待受画面を表示する

1 基本待受画面（P21）で左にスライド

・使用者待受画面が表示されます。
・他の使用者待受画面を表示するときは、スライドします。

使用者待受画面

● 使用者待受画面のアイコンを操作する

1 アイコンをタッチ

ショートカット、ウィジェット、コンタクトが動作します。

パワーランチャーから機能を選択する

待受画面のパワーランチャーに 4 個のアイコンが配置されています。

1 アイコンをタッチ

操　作	説　明
	通話／メール履歴の「通話最新履歴」が表示されます。「着信履歴」／「リダイヤル」／「メール受信履歴」／「メール送信履歴」／「メール最新履歴」に切り替えられます。
（1 秒以上）	公共モード（ドライブモード）に設定します。
	電話帳の「全件検索」が表示されます。「グループ検索」／「フリガナ検索」／「メモリ検索」／「電話番号検索」／「ドメイン検索」に切り替えられます。また、電話帳の新規作成ができます。
（1 秒以上）	電話帳の登録画面が表示されます。
	メールメニュー画面が表示されます。
（1 秒以上）	ｉモード問い合わせが行われます。
MENU	メインメニュー画面が表示されます。

インディケータリストから機能を選択する

使用者待受画面の上部をタッチするとインディケータリストが表示されます。

1 ❶ をタッチ

・インディケータリスト画面が表示されます。

2 項目を選択

インディケータリスト画面

メニュー操作の表記について

本書では、主に待受画面からの操作で説明しています。待受画面には基本待受画面と使用者待受画面の 2 種類があり、共通の操作の場合には待受画面と記載しています。また、原則として操作手順を次のように簡略化しています。

操作の記載例

❶ 操作のためにタッチするアイコンのイラストです。

❷ メインメニューの機能名称（P29）です。アイコンをタッチします。

❸ メニュー項目の名称です。「●●●をタッチ」のように表現している場合もあります。項目をタッチまたは 2 回タッチして選択します。

表記ルール

■待受画面以外から開始する操作文の表記について

操作文の最初に「着信中」や「一覧画面」など、FOMA 端末の状態や表示される画面を記載しています。

■「選択」操作における［選択］の省略について

「操作の記載例」（P33）❷、❸ のようにアイコンや一覧から目的の機能を選択するときは［選択］などの確定操作を省略して記載しています。同様に暗証番号の入力や文字の確定などの操作説明でも、［OK］などの確定操作を省略しています。

■ □ を ☑ にする操作におけるタッチの省略について

□ の付いた項目を選択し、タッチして ☑ にする操作を、タッチの操作を省略して「チェックを付ける」と記載しています。

使いかたガイドを利用する

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては、内容を確認後その機能を実行することができます。

- デフォルトの設定は「ラインスクロール」となるため、使いかたガイドでは、「ラインスクロール」のメニュースタイルで機能を選択する操作で説明しています。

1 MENU ▶「使いかたガイド」

2 「メニュー検索」／「機能ガイド」／「イントロアニメーション」／「困ったとき」

「メニュー検索」では、メニュー項目名やキーワードを入力して知りたい機能を検索できます。Mode をタッチすると、入力モードの切り替えができます。「機能ガイド」では、目的の機能を一覧から選択して確認できます。「イントロアニメーション」では、イントロアニメーションを表示します。［戻る］、［次へ］をタッチすると、アニメーションの切り替えができます。「困ったとき」では、お問い合わせ先、または目的の症状を一覧から選択して確認できます。

Information

- 検索結果画面で［機能実行］が表示された場合は、［機能実行］をタッチしてその機能を実行することができます。

文字入力のしかた

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面では、そのときの入力モードや操作ガイド情報が表示されています。

文字入力画面

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面 ▶［文字］

2 入力モードを選択

入力モードが確定します。

- ［絵／記］をタッチすると、絵文字、全角記号、半角記号、顔文字を選択することができます。

漢	：かな漢字入力モード
カ	：カタカナ入力モード
ｶﾅ	：半角カタカナ入力モード
a	：全角英数字入力モード（小文字）
A	：全角英数字入力モード（大文字）
ab	：半角英数字入力モード（小文字）
AB	：半角英数字入力モード（大文字）
1	：全角数字入力モード
12	：半角数字入力モード
韓※	：韓国語入力モード

※ SMS本文の入力を「日・韓（70文字）」に設定しているときに表示されます。

文字の入力方法

かな漢字入力モードでは、入力中の文字から変換候補を予測する予測入力機能や、次に入力される文節を予測する次文節予測機能の2つの予測機能を使用して文字入力できます。

例：かな漢字入力モードで「ドコモ太郎」と入力する場合

1 文字入力画面で「どこも」と入力

「ど」：［た］を5回▶
　　A/a を1回
「こ」：［か］を5回
「も」：［ま］を5回

文字入力エリア
予測候補表示エリア

予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

2 予測候補表示エリアをタッチ

3「ドコモ」を2回タッチ

4「たろう」と入力

「た」：［た］を1回
「ろ」：［ら］を5回
「う」：［あ］を3回

5 予測候補表示エリアをタッチ

6「太郎」を2回タッチ

絵文字／記号／顔文字を入力する

文字入力時にFOMA端末に登録されている絵文字／記号／顔文字を利用して入力できます。

1 文字入力画面▶［絵／記］

2 入力モードを選択

絵文字／絵文字D　：絵文字入力モード
半角記号／全角記号：記号入力モード
顔文字　　　　　　：顔文字入力モード

3 種類を切り替え

4 入力したい絵文字／記号／顔文字を選択

Information

- 入力している画面によっては、入力できない場合や入力モード／種類を切り替えられない場合があります。

着信音を変える

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音選択」

2 項目をタッチし、ファイルを選択

音量を調節する

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「音量設定」

2 項目の − ／ + をタッチし、音量を調節

バイブレータを設定する

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「バイブレータ設定」

2 項目をタッチし、振動パターンを選択

3 ［設定］

マナーモードを利用する

1 待受画面 ▶ ◀（マナー）（1 秒以上）

マナーモードが設定されると、画面上部に が表示されます。

- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音は鳴ります。

■マナーモードを解除する場合

待受画面を表示中に ◀（マナー）（1 秒以上）を押します。

Information

- 待受画面 ▶ で［#］を 1 秒以上タッチしても、マナーモードを設定／解除できます。

操作したときの音を消す

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「タッチ設定」

2 ［タッチ種類］▶「OFF」

画面の設定を変える

基本待受画面の表示を変える

1 MENU ▶「表示」▶「待受画面設定」▶「基本待受画面設定」

2 各項目を設定

使用者待受画面の表示を変える

1 MENU ▶「表示」▶「待受画面設定」▶「使用者待受画面設定」

2 ◀／▶で壁紙を選択▶［設定］

キーロック中画面の表示を変える

1 MENU ▶「表示」▶「ロック画面設定」

2 ◀／▶で画像を選択▶［設定］

ディスプレイの明るさを変える

ディスプレイの照明時間や明るさを設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「照明設定」

2 各項目を設定

メインメニューのタイプを変える

メインメニューの表示タイプを設定します。

1 MENU ▶「メニュータイプ」▶「ラインスクロール」／「エリアスクロール」／「ベーシック」

eco モードを設定する

ディスプレイの照明の明るさを最小レベルに設定し、最後の操作から約 10 秒経過すると消灯するように設定します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「eco モード」▶「ON」／「OFF」

Information

- 待受画面▶(🗑)で［5］を 1 秒以上タッチしても、eco モードを設定／解除できます。

各種暗証番号について

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（お買い上げ時：0000）

端末暗証番号は、お客様ご自身で番号を変更できます。

MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」

ネットワーク暗証番号（ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や、各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、「ｉ Menu･検索」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」から変更できます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード（ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

ｉモードパスワードは、お客様ご自身で番号を変更できます。

なお、ｉモードからは、「ｉ Menu･検索」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認･変更･利用）」▶「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

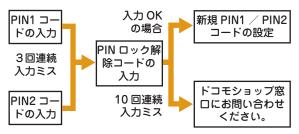
PIN1コード／PIN2コード（ご契約時：0000）

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。PIN2コードは、積算通話料金のリセットなどに使用する4～8桁の番号です。これらの暗証番号は、お客様ご自身で番号を変更できます。PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コードリクエスト」を I に設定してください。

MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コード変更」／「PIN2コード変更」

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続で失敗すると、FOMAカードがロックされます。

各種ロック機能

ロック機能	説　明
オールロック	他の人に FOMA 端末を操作されないように、FOMA 端末をロックします。 • オールロック設定中は、電源 ON ／ OFF、緊急通報、音声電話／テレビ電話着信、オールロック解除、キーロックの設定／解除以外の操作はできません。 **1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「オールロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」** ■ **オールロックを解除する場合** オールロック設定中に［ロック解除］▶ 端末暗証番号を入力します。 端末暗証番号の入力を 5 回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。 • オールロック設定中でも緊急通報（110 番、119 番、118 番）ができます。 オールロック設定中に［緊急呼］▶ 緊急通報の番号をタッチ ▶［はい］をタッチします。ただし、FOMA カードが取り付けられていない場合は、基本待受画面に［緊急呼］が表示されません。
おまかせロック	FOMA 端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。 **おまかせロックの設定／解除** **0120-524-360** ※ **受付時間　24 時間（年中無休）** ※ 一部の IP 電話からは接続できない場合があります。 • パソコンなどで My docomo のサイトからも設定／解除ができます。 • おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。
発着信／メールロック設定	ダイヤルアイコン操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示などができないようにします。 **1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「発着信／メールロック設定」▶ 端末暗証番号を入力** **2「発着信／メールロック設定」の［ I ・ O ］を I にする ▶ 制限したい項目にチェックを付ける** **3［完了］**

ロック機能	説　明
セルフモード	電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、Bluetooth 機能によるデータ送受信も利用できません。 **1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「セルフモード」の［ I ・ ○ ］▶「はい」**
プライバシーモード設定	指定した機能をロックし、端末暗証番号を入力しないと利用できないようにしたり、利用を制限したりできます。 **1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「プライバシーモード設定」▶端末暗証番号を入力** **2「プライバシーモード設定」の［ I ・ ○ ］を I にする ▶ ロックしたい機能にチェックを付ける** **3［完了］**
キーロック設定	タッチパネルとキーをロックして使用できなくします。 「照明設定」で設定した照明時間 +5 秒でもキーロック状態になります。 **1 (🔒)** **■ キーロックを解除する場合** (🔒) を 1 秒以上押します。 -［キーロック解除］を 1 秒以上タッチ ▶［解除します］で指を離しても、キーロックの解除ができます。ディスプレイ消灯時は、(🔒) ／ (⌂) を押してディスプレイを点灯して［キーロック解除］を表示させます。
履歴表示設定	リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴が表示されないようにします。 **1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶ 端末暗証番号を入力** **2 設定する項目の［ I ・ ○ ］**

電話の着信制限

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない電話の着信を、非通知理由ごとに拒否できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「非通知着信」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「非通知設定」／「公衆電話」／「通知不可能」▶ 各項目を設定

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手からかかってきた電話を拒否するように設定できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「メモリ登録外着信拒否」の［ I ・ ○ ］

お買い上げ時の状態に戻す

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「設定リセット」▶「設定リセット」▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

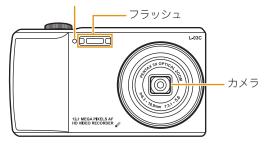
登録データを一括して削除する

登録してあるデータを削除します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「メモリ削除」

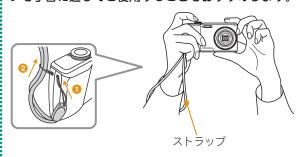
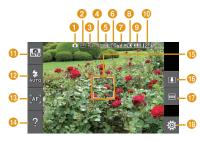
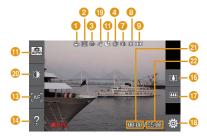
2 削除したい項目をタッチ ▶ 削除したい項目をタッチ ▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

カメラの使いかた

カメラを使って静止画や動画を撮影します。

Information

- 電池残量が少ないときは、カメラを起動できない、または自動的にカメラを終了する場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- microSD カードが挿入されていないときは、静止画／動画が撮影できません。microSDカードを挿入してから撮影してください。
- 電話帳の画像や基本待受画面などにカメラで撮影した静止画／動画を設定している場合、microSD カードを取り外すと表示されなくなります。

撮影のしかた

ストラップ（試供品）を FOMA 端末に取り付けて、撮影時には FOMA 端末を落とさないようにストラップを手首に通してご使用することをおすすめします。

撮影画面の見かたと操作

静止画撮影画面

動画撮影画面

● 撮影画面のキー操作

操　作	説　明
シャッターキー	シャッター／録画開始
ズームホイール	ズーム
(鍵)	キーやタッチパネルのロック
(カメラ) ／ (ホーム)	フォトモード／ビデオモード終了
(カメラ/ビデオ)	フォトモードとビデオモードを切り替え
(再生)	「データBOX」の「マイピクチャ」フォルダ／「iモーション／ムービー」フォルダ内にある撮影画像などを表示

● 撮影画面に表示されるマーク（アイコン）

1 フォトモード／ビデオモード

フォトモード　ビデオモード

2 サイズ選択

12M（4000 × 3000）　8M（3264×2448）
5M（2560 × 1920）　Wide4M（2560×1440）
Full HD（1920 × 1080）　2M（1600×1200）
1M（1280 × 960）　HD（1280×720）
待受画面（800 × 480）　VGA（640×480）
QVGA（320 × 240）　QCIF（176×144）

3 画質

スーパーファイン　ファイン　標準

4 セルフタイマー

3秒　5秒　10秒

5 撮影モード

標準　スマイルショット　ビューティーショット
連続撮影　ハイスピードショット　パノラマ撮影
フレーム撮影　音声付画像　アート撮影

うつす

❻ **ISO**
ISO64　ISO100　ISO200　ISO400
ISO800　ISO1600　ISO3200
❼ **手ブレ補正**
ON
❽ **保存メモリ**
microSD カード　microSD カード未挿入
❾ **電池残量表示**
❿ **撮影可能枚数**
⓫ **シーン**
自動　インテリジェントモード　ポートレート
スポーツ　風景　夜間　夜景ポートレート
ランプ　花火　料理
⓬ **フラッシュ**
自動　赤目軽減　OFF　ON
⓭ **フォーカス**
自動　マクロ　パンフォーカス
顔認識　マニュアル
⓮ **ヘルプ**
⓯ **フォーカス枠**
オートフォーカス機能の動作時に色が変わって状態を示します。
⓰ **ズームイン**
⓱ **ズームアウト**
⓲ **設定メニュー**
⓳ **音声録音**
ミュート
⓴ **明るさ**
㉑ **撮影経過時間**
㉒ **合計撮影可能時間**

Information

- カメラモードでは、電池残量表示を除き、FOMA 端末の状態を表すアイコン（ステータスアイコン）は表示されません。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 待受画面 ▶ [カメラ]

■**動画撮影画面が表示された場合**
[カメラ切替] を押します。

2 カメラを被写体に向ける ▶ シャッターキー

動画を撮影する

1 待受画面 ▶ [カメラ]

■**静止画撮影画面が表示された場合**
[カメラ切替] を押します。

2 カメラを被写体に向ける ▶ シャッターキー

撮影開始音が鳴り、動画の撮影を開始します。

3 シャッターキー

撮影終了音が鳴って動画の撮影を終了します。

タッチフォーカスで静止画を撮影する

ディスプレイをタッチするとタッチした場所に自動でピントを合わせ、撮影できます。

1 待受画面▶(カメラ)

2 カメラを被写体に向ける▶ディスプレイをタッチ（1 秒以上）

3 タッチした指を離す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

さまざまな方法で撮影する

スマイルショット撮影

笑顔を感知して自動で撮影します。

1 静止画撮影画面▶⚙▶「撮影モード」▶「スマイルショット」▶［X］

2 カメラを被写体に向ける

笑顔を感知すると自動的に撮影されます。

ビューティーショット撮影

表情を明るく鮮明に撮影できるように自動で調整します。

1 静止画撮影画面▶⚙▶「撮影モード」▶「ビューティーショット」▶［X］

2 シャッターキー

連続撮影

シャッターキーを押している間、連続で撮影します。

1 静止画撮影画面▶⚙▶「撮影モード」▶「連続撮影」／「ハイスピードショット」▶［X］

2 シャッターキーを長押し

シャッターキーを押している間、静止画を撮影します。

Information

- 連続撮影／ハイスピードショットでは、複数枚の静止画を撮影しているため、保存に時間がかかります。保存中は、撮影ランプ（ディスプレイ面）が点滅しています。撮影ランプ（ディスプレイ面）が消えると、次の撮影が行えます。

パノラマ撮影

FOMA 端末を上／下／左／右方向に動かして、最大6 枚の静止画から 1 枚のパノラマ写真を作成します。

1 静止画撮影画面 ▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「パノラマ撮影」

2 シャッターキー

3 撮影方向に FOMA 端末を動かす ▶ ディスプレイ中央の白い円を赤い円に合わせる

- 赤い円に合わせると自動的に撮影されます。
- 撮影した静止画をつなげたパノラマ写真が表示されます。

Information

- 撮影中に 💾 をタッチすると、途中まで撮影した静止画でパノラマ写真が表示されます。
- 撮影中に［CANCEL］をタッチすると、撮影を始めからやり直すことができます。

フレーム撮影

選択したフレームを表示しながら撮影します。

1 静止画撮影画面 ▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「フレーム撮影」

2 フレームを選択 ▶［OK］

3 シャッターキー

音声付画像撮影

静止画を撮影後、約 10 秒間の音声を録音することができます。

1 静止画撮影画面 ▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「音声付画像」▶［X］

2 シャッターキー

撮影完了後に音声録音が開始されます。約 10 秒間録音されます。

アート撮影

効果を追加して撮影します。

1 静止画撮影画面 ▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「アート撮影」▶ 撮影の種類をタッチ ▶［X］

2 シャッターキー

アルバムを表示する

1 待受画面／静止画撮影画面／動画撮影画面▶（▶）

2 左右にスライド

Information

- 静止画を基本待受画面に設定するには、設定したい静止画を表示して「設定」▶「待受画面設定」をタッチします。
- 編集した動画は、アルバムから再生できません。動画／ｉモーションプレーヤー（P74）で再生してください。

静止画を拡大表示する

1 アルバムの静止画表示中▶ズームホイールを左右に回す

動画を再生する

1 アルバムの動画表示中▶▶

スライドショーを表示する

1 静止画表示中▶［スライドショー］

スライドショーを操作する

1 スライドショー表示中▶▯▯

2 ［メール］／［設定］／🗑

スライドショーを設定する

1 スライドショー表示中▶⚙

2 ［時間］／［サウンド］／［スタイル］

本 FOMA 端末は内側カメラを搭載しておりませんので、テレビ電話中に相手に送る画像は、静止画となります。

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面 ▶ (発信キー) ▶ 電話番号を入力
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

2 ［通話］（または (発信キー)）
受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで発信中画面が表示されます。

■テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

3 通話が終了したら (ホームキー)

電話帳から電話をかける

1 (電話帳アイコン)

2 電話をかける相手をタッチ ▶［発信］（または (発信キー)）

■テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

履歴はそれぞれ 30 件まで記録されます。
- 30 件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 (電話アイコン) ▶ (▼) ▶「リダイヤル」または「着信履歴」

2 電話をかける相手をタッチ

3 ［通話］（または (発信キー)）

■テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。

1 (MENU) ▶「NW サービス」▶「発信者番号通知」▶「発信者番号通知設定」

2「通知する」／「通知しない」

Information
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか 186 を付けてからおかけ直しください。

つながる

国際電話を利用する

WORLD CALL はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約 240 の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の FOMA サービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。
- WORLD CALL の詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

1 待受画面 ▶ (通話キー) ▶「010 －国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 ［通話］（または (通話キー)）

■国際テレビ電話をかける場合

［テレビ電話］をタッチします。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 ［応答］（または (通話キー)）

電話に出ます。

3 通話が終了したら (ホームキー)

相手の声の大きさを変える

1 通話中に (◀)（マナー）／ (▶)（メモ）

つながる

電話に出られないときは

伝言メモを設定する

伝言メモを設定しておくと、音声電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモが起動しません。通常の着信動作を行います。

1 ▶「その他機能」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ設定」

2「設定」の［・］

- にすると、項目を選択／設定できます。

3［OK］

伝言メモを設定すると、画面上にが表示されます。

伝言メモを再生する

1 ▶「その他機能」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ一覧」

2 伝言メモを 2 回タッチ

公共モード（ドライブモード）を設定する

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 （1 秒以上）

公共モード（ドライブモード）が設定されると、画面上部にが表示されます。

■公共モード（ドライブモード）を解除する場合

（1 秒以上）をタッチします。

公共モード（電源 OFF）を設定する

電源を OFF にしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面 ▶（）▶「＊ 25251」を入力 ▶［通話］（または（））

■公共モード（電源 OFF）を解除する場合

電話番号入力画面を表示中に「＊ 25250」を入力して［ 通話 ］（または（））をタッチします。

つながる

各種ネットワークサービスを利用する

利用できるネットワークサービス

FOMA 端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源 OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

Information

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 各ネットワークサービスの概要について詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービスを設定する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「留守番電話」▶項目を選択

キャッチホンを設定する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「キャッチホン」▶項目を選択

転送でんわサービスを設定する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「転送でんわ」▶項目を選択

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

Information

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外で利用する

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、iモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

● 対応エリアについて

本FOMA端末は3Gネットワークおよび GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

● 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- FOMA端末にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

Information

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声通話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS（ショートメッセージサービス）※2	○	○	○
ｉモードサイト※3	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※3※4	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

※1 マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※3 ｉモード海外利用設定が必要となります。
※4 海外でのｉチャネル利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。

Information

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
  接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

滞在国から日本に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋81」を入力して電話をかけます。

1 待受画面▶(面)▶[0]（1秒以上）▶[8][1]▶先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力

2 [通話]（または(面)）

■テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]をタッチします。

滞在国から他国（日本以外）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋」と国番号を入力して電話をかけます。

- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、国番号に「81」を入力して日本への国際電話として電話をかけてください。
- [0]を1秒以上タッチすると、「＋」が入力されます。

1 待受画面▶(面)▶[0]（1秒以上）▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 [通話]（または(面)）

■テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]をタッチします。

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

1 待受画面▶( )▶「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 [通話]（または ( )）

■テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]をタッチします。

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

海外で WORLD WING 利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面▶( )▶[0]（1 秒以上）▶[8][1]▶先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力

2 [通話]（または ( )）

■テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]をタッチします。

滞在国で電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 [応答]（または ( )）

電話に出ます。

3 通話が終了したら ( )

Information

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

つながる

ｉモードメールを送信する

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由して e-mail のやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

1 ▶「新規メール作成」

2 To 欄をタッチ ▶「直接入力」▶ 宛先を入力

3 Sub 欄を 2 回タッチ ▶ 件名を入力

4 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ 本文を入力

5 ［送信］

ファイルを添付して送信する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

- 最大 10 件、合計 2M バイトまで添付できます。

1 ▶「新規メール作成」

2 ▶ 項目を選択し、ファイルを選択

3 To 欄をタッチ ▶「直接入力」▶ 宛先を入力

4 Sub 欄を 2 回タッチ ▶ 件名を入力

5 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ 本文を入力

6 ［送信］

デコメール®／デコメアニメ®を送信する

デコメール®を送信する

ｉモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行ったりして、オリジナルメールを作成できます。

1 ▶「新規メール作成」

2 宛先、件名を入力

3 ［本文］欄を２回タッチ ▶ ▶［デコレーション］

4 パレットを操作して本文をデコレーション

5 パレットが開いている場合は

■デコメール®の内容を確認する場合

▶「プレビュー」をタッチします。

6 ［確定］▶［送信］

つながる

デコメアニメ®を送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。

お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP（情報提供者）サイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

1 ✉ ▶「新規デコメアニメ作成」

2 宛先、件名を入力

3 「編集」欄を2回タッチ▶テンプレートをタッチ▶［編集］

・［プレビュー］：選択中のデコメアニメ®テンプレートの内容を確認できます。

4 「文字入力画面」を2回タッチ▶本文を入力▶［完了］

5 ［送信］

Information

・✉ ▶「テンプレート」▶「デコメアニメ」▶テンプレートを2回タッチ▶［メール］でもメールを作成することができます。

受信したｉモードメールを見る

FOMA 端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

1 ｉモードメールを受信すると画面上部に が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 「メール」▶ フォルダを 2 回タッチ

3 表示したいメールを 2 回タッチ

ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの送信元に返信します。返信には新たに本文を入力する方法と受信したｉモードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール詳細画面 ▶ ▶「返信／転送」▶「返信」／「引用付き返信」

「返信」を選択した場合、「ｉモードメール」または「デコメアニメ」を選択します。

2 件名、本文を入力

3 ［送信］

つながる

ｉモードメールが届いているか問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信できます。

1 ✉▶「ｉモード問い合わせ」

メールを振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

- あらかじめメールを振り分けるためのフォルダを「受信メール」「送信メール」内に作成しておいてください。

1 ✉▶「メール設定」▶「自動振り分け設定」

2 「受信メール自動振り分け」／「送信メール自動振り分け」

3 自動振り分けルール設定欄を2回タッチ

4 振り分け条件欄を2回タッチ▶振り分け条件を設定

5 振り分け対象欄をタッチ▶メールを振り分けるフォルダを2回タッチ▶［保存］

SMS を利用する

SMS を送信する

携帯電話番号を宛先にしてメッセージを送信します。

1 ✉ ▶「新規 SMS 作成」

2 To 欄をタッチ ▶「直接入力」▶ 電話番号を入力

3 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ 本文を入力

4 ［送信］

受信した SMS を見る

FOMA 端末が圏内にあるときは、自動的に SMS が送られてきます。

1 SMS を受信すると、画面上部に ✉ が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 受信結果画面を 2 回タッチ ▶ フォルダを 2 回タッチ

3 表示したい SMS を 2 回タッチ

つながる

電話帳には、FOMA 端末に保存する FOMA 端末電話帳と、FOMA カードに保存する FOMA カード電話帳の 2 種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

項　目		FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳
登録内容	名前（フリガナ）	1 件	1 件
	電話番号	5 件	1 件
	メールアドレス	3 件	1 件
	グループ	31 グループ	11 グループ
	画像	1 件	登録不可
	その他の設定項目	シークレットコード、電話着信音、メール着信音など	登録不可

電話帳に登録する

新しい電話番号／メールアドレスなどを登録する

1 📖（1 秒以上）

2 「登録先」欄をタッチ▶「本体」／「FOMA カード（UIM）」

3 各項目を設定

4 ［保存］

リダイヤルや着信履歴から電話帳に登録する

1 ▶ ▶「リダイヤル」または「着信履歴」

2 登録する電話番号をタッチ ▶ ▶「電話帳登録」

3 「新規登録」

4 電話帳を登録 ▶［保存］

電話帳を修正する

1 ▶ 修正する電話帳を２回タッチ ▶［編集］▶ 各項目を修正

2 修正が終わったら［保存］▶「はい」

電話帳を削除する

1 ▶削除する電話帳を２回タッチ▶ ▶「削除」

2 「はい」

電話帳の登録状況を確認する

FOMA 端末と FOMA カードの電話帳の登録状況を確認できます。

1 ▶「電話帳」▶「電話帳登録件数」

通話やメールの履歴を表示する

1 ▶「通話／メール履歴」▶ 表示する履歴をタッチ

ｉモードについて

ｉモードでは、ｉモード対応 FOMA 端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

● ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布できません。
- 別の FOMA カードに差し替えたり、FOMA カードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージ R/F などは表示、再生できません。
- FOMA カードにより表示・再生が制限されているファイルを基本待受画面、着信音などに設定している場合、別の FOMA カードに差し替えたり、FOMA カードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードサイトを表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉ Menu・検索」

サイトの見かたと操作

サイトを選択して表示する

1 サイト表示中 ▶ 項目（リンク先）を 2 回タッチ

ｉモード通信中は画面上部に が点滅します。

● サイト表示中の操作

操　作	説　明
タッチ	リンクの選択／ポインタの移動※
2 回タッチ	リンク先の表示
スライド	画面のスクロール／ポインタの移動※

※「ポインタ表示設定」で「表示する」に設定していると、ポインタを操作できます。

よく見るサイトを Bookmark に登録する

Bookmark に登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

1 サイト表示中 ▶ ▤ ▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトル欄をタッチ ▶ タイトルを編集 ▶［OK］▶ 登録したいフォルダを 2 回タッチ

Bookmark からホームページやサイトを表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「Bookmark」

2 フォルダを 2 回タッチ ▶ 表示したい i の Bookmark を 2 回タッチ

画面メモを保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

- サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。

1 サイト表示中 ▶ ▤ ▶「画面メモ」▶「登録」▶「はい」

画面メモを表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「画面メモ」

2 表示したい画面メモを 2 回タッチ

フルブラウザについて

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページを FOMA 端末で表示できます。

- ページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜ FOMA ＞編)』をご覧ください。

パソコン向けのホームページを表示する

1 MENU ▶「フルブラウザホーム」

Information

- フルブラウザでは、SSL/TLS 対応のページを表示できます。
- SSL/TLS とは、認証／暗号技術を使用してより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLS ページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

よく見るインターネットホームページをBookmark に登録する

Bookmark に登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

1 インターネットホームページ表示中 ▶ ▤ ▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトル欄をタッチ ▶ タイトルを編集 ▶［OK］▶ 登録したいフォルダを 2 回タッチ

Bookmark からインターネットホームページを表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「Bookmark」

2 フォルダを 2 回タッチ ▶ 表示したい FB の Bookmark を 2 回タッチ ▶「はい」

ｉモードからフルブラウザに切り替える

1 ｉモードでサイト表示中 ▶ ▤ ▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ切替」▶「はい」／「はい（以後非表示）」

Information

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。
  フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスを契約されることをおすすめします。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が基本待受画面にテロップとして流れます。また、テロップを２回タッチすることで最新情報がチャネル一覧に表示されます。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の２種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで基本待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 MENU▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」

チャネル一覧画面

2 チャネル項目を選択

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

Information

- チャネル一覧画面では、タッチによる操作で項目を選択できません。［キー表示］をタッチして、表示されたキーをタッチすることでページ操作を行うことができます。

Music&Videoチャネルについて

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスの契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組を設定する

1 MENU ▶「Music&Videoチャネル」

2「番組設定」▶「はい」

3 画面の指示に従って番組を設定

番組を再生する

1 MENU ▶「Music&Videoチャネル」▶番組を2回タッチ

● Music&Videoチャネルプレーヤー画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏸／▶（1秒以上）	番組の頭出しをして一時停止
◀（マナー）／▶（メモ）／🔊	音量調節
⏮／⏭	頭出しまたは前のチャプターを再生／次のチャプターを再生
⏮／⏭（1秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り
⌂	Music&Videoチャネルプレーヤーを終了

ミュージックプレーヤー画面の見かたと操作

● ミュージックプレーヤー画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏸／▶（1 秒以上）	曲の頭出しをして一時停止
◀（マナー）／▶（メモ）／🔊	音量調節
⏮／⏭	頭出しまたは前の曲を再生／次の曲を再生
⏮／⏭（1 秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り

操　作	説　明
🔀	シャッフル設定を切り替え
🔁	リピート設定を切り替え
🅳	イコライザーの ON ／ OFF を切り替え
標準	イコライザー設定を切り替え
画像をタッチ	前の画像／次の画像を表示
▤ ▶ ジャケット画像	ジャケット画像の表示を切替／画像をデータ BOX に保存
▤ ▶「歌詞」	歌詞の表示／非表示を切り替え
［一覧］	音楽データ一覧画面を表示 一覧画面表示中は再生している曲のジャケットの右上に ♫ が表示されます。
［BGM 再生］	基本待受画面に戻り、BGM として再生
⌂	ミュージックプレーヤーを終了

Information

- 「自動表示回転」（P27）が ▮ のとき、FOMA 端末の上部を左側に傾けると、ミュージックプレーヤーは横画面に切り替わります。

着うたフル®をダウンロードする

1 着うたフル®があるサイトを表示▶ダウンロードする着うたフル®を選択

2「保存」

3「本体へ」／「microSDへ」

- 本体を選択した場合、保存したいフォルダをタッチ▶［選択］をタッチします。
- microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

Information

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、iモードパケット定額サービスの適用対象外です。

※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

音楽データを再生する

例：「全曲」から再生する場合

1 MENU▶「ミュージックプレーヤー」

2 音楽データを2回タッチ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA 端末をより便利にご利用いただけます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA 端末に保存します。

1 **サイト表示中 ▶ ソフトを選択 ▶「はい」**

2 **ダウンロード完了 ▶「はい」**
ダウンロードしたソフトが起動します。

ｉアプリを起動する

1 **MENU ▶「ｉアプリ」▶「ソフト一覧」**

2 **ソフトを 2 回タッチ**

■ **ｉアプリを終了する場合**
（ホーム）▶「はい」をタッチします。

ｉアプリを削除する

1 **MENU ▶「ｉアプリ」▶「ソフト一覧」▶ ソフトをタッチ ▶ (メニュー) ▶「削除」▶「1 件」▶「はい」**

Information

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「WOW LG」のサイトからダウンロードできます。「WOW LG」では、ｉアプリだけでなく、お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®、デコメアニメ®、壁紙、メロディ、ｉモーションなどもダウンロードできます。
MENU ▶「i モード」▶「ｉ Menu・検索」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
※ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

iモーションとは映像と音が含まれる動画データです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存して基本待受画面や着信音などに設定できます。

iモーションのタイプ

● **標準タイプ**

標準タイプには次の2つの形式があります。

① 取得後に再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

② 取得しながら再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

- iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

● **ストリーミングタイプ**

データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大10Mバイトのiモーションを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

サイトからiモーションを取得する

- 取得したiモーションは、「データBOX」の「iモーション／ムービー」内またはmicroSDカードに保存されます。

1 **サイト表示中▶iモーションを選択**

2 **再生／取得完了後に「保存」**

3 **「本体へ」／「microSDへ」**

- 本体を選択した場合、保存したいフォルダをタッチ▶［選択］をタッチします。
- microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

iモーションを再生する

撮影した動画、サイトやiモードメールから取得したiモーションなどを再生します。

1 **MENU▶「データBOX」▶「iモーション／ムービー」**

2 **フォルダを2回タッチ**

3 **ファイルを2回タッチ**

- 初めて動画／iモーション（映像付き）を再生したときは、iモーションを常に全画面で再生するかどうかを確認する画面が表示されます。全画面（横）で拡大再生する場合は「はい」を選択してください。

iモーション再生画面

● ｉモーション再生画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏮／⏭	前のファイル／次のファイルを再生
⏮／⏭（1 秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り
◀（マナー）／▶（メモ）／🔊	音量調節
［ストップ］	停止

Information

- 「自動表示回転」（P27）が ｉ のとき、FOMA 端末の上部を左側に傾けると、ｉモーション再生画面は横画面に切り替わります。
- HD（1280 × 720）で撮影した動画は、動画／ｉモーションプレーヤーでは再生できません。アルバム（P49）で再生してください。

プレイリストを利用する

プレイリストで動画／ｉモーションの再生順を指定できます。FOMA 端末と microSD カードに保存した動画／ｉモーションからお好みの動画／ｉモーションをお好みの順番で再生します。

プレイリストを作成する

1 MENU ▶「データ BOX」▶「ｉモーション／ムービー」▶「プレイリスト」

2 ［新規］▶ プレイリスト名を入力

3 ［追加］▶ フォルダを 2 回タッチ

4 動画／ｉモーションをタッチ ▶［選択］

5 プレイリストに登録したい動画／ｉモーションにチェックを付ける ▶［完了］

プレイリストを再生する

1 MENU ▶「データ BOX」▶「ｉモーション／ムービー」▶「プレイリスト」

2 再生したいプレイリストを 2 回タッチ

たのしむ

スケジュールを利用する

会議や約束などの予定を登録できます。

1 MENU ▶「スケジュール」▶ スケジュールを登録する日付をタッチ ▶［新規作成］

2 各項目を設定

3［保存］

アラームを利用する

FOMA 端末を目覚まし時計として利用できます。

1 MENU ▶「アラーム」

2 編集するアラームをタッチ ▶［編集］

3 各項目を設定

4［保存］

Bluetooth 機能

FOMA 端末とワイヤレスイヤホンセット 02（別売）を Bluetooth 通信で接続すると、FOMA 端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

Bluetooth 機器を FOMA 端末に登録する

Bluetooth 機器を FOMA 端末に登録します。登録したい Bluetooth 機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。

例：ワイヤレスイヤホンセット 02 を登録してハンズフリーサービスで接続する場合

1 MENU ▶「Bluetooth」▶「Bluetooth」の［I・O］を I にする ▶「新規機器登録」

2 ワイヤレスイヤホンセット 02 を選択 ▶「はい」

- ワイヤレスイヤホンセット 02 以外の Bluetooth 機器を登録する場合は、Bluetooth パスキーを入力する必要があります。

Bluetooth 機器と接続する

1 MENU ▶「Bluetooth」▶「Bluetooth」の［I・O］を I にする ▶「登録機器リスト」

2 Bluetooth 機器を選択 ▶「接続」▶ 接続するサービスを選択

- Bluetooth 機器と接続中は、待受画面で が点滅します。

パソコンから FOMA 端末を操作する

Bluetooth 通信対応のパソコンと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、パソコン上で操作します。

1 MENU ▶「Bluetooth」▶「OSP 登録待受」▶「はい」

- 接続中に中止する場合は［中止］をタッチします。

● **LG On-Screen Phone（OSP）とは**

LG On-Screen Phone は FOMA 端末の画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使って FOMA 端末を簡単に操作できる機能です。

パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の受信などパソコンに通知したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンと FOMA 端末でファイルのやりとりしたりできます。

● **OSP について**

操作方法やパソコンソフトのダウンロード、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。

- パソコンから　http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

Google を利用する

Google を利用するには、最初に注意事項を確認します。

1 MENU ▶「Google」

表示された注意事項を確認します。

2「確認し続行」

Google 検索を利用する

Google を利用してインターネットで検索できます。

1 MENU ▶「Google」

2「検索」▶ 検索語を入力

YouTubeを利用する

YouTubeに接続して動画を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2「YouTube」

Picasaを利用する

Picasaに接続して静止画を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2「Picasa」

Google Mapを利用する

Google Mapに接続して地図を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2「マップ」

以降は、画面の指示に従って操作してください。

Gmailを利用する

Gmailを利用してメールを送信できます。

1 MENU ▶「Google」

2「Gmail」

画面の指示に従ってログインしてください。

さまざまな便利ツールを利用する

辞典を利用する

国語、英和、和英辞典が利用できます。

1 MENU ▶「辞典」▶「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」

2 調べたい単語を入力

3 単語をタッチ

検索結果一覧画面

ドキュメントを表示する

microSD カードに保存されているドキュメントファイルを表示します。

- 表示可能なファイルの種類は、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、PDF です。ただし、Word 2007 以降、Excel 2007 以降、PowerPoint 2007 以降のファイルは表示できません。また、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 MENU ▶「ドキュメントビューア」▶ドキュメントを 2 回タッチ

microSD カードを利用する

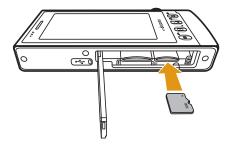
FOMA 端末に保存されている画像や動画／ｉモーションなど、データ BOX 内のファイルを microSD カードに保存したり、パソコンから microSD カードに保存したファイルを FOMA 端末で表示したりすることができます。

- L-03C では市販の 2G バイトまでの microSD カード、16G バイトまでの microSDHC カードに対応しています（2010 年 12 月現在）。microSD カードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されている microSD カード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから 「ｉ Menu・検索」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  - パソコンから　http://www.lg.com/jp/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードの取り付け、または取り外しを行う場合は、「電源を切る」の操作を行った後、ディスプレイ面を上にして電池パックカバーと電池パックを取り外してから行ってください。

microSD カードを取り付ける

microSD カードを取り付けるときは、FOMA 端末を手に持って行ってください。

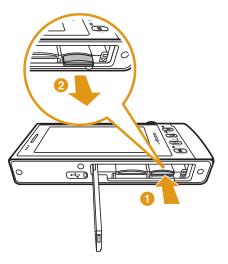
1 microSD カードの金属端子面を下にして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込む

Information

- microSD カードは向きに注意して正しく取り付けてください。正しくない向きで取り付けようとすると microSD カードやガイドが破損する恐れがあります。
- 正しく取り付けられていないと microSD カードを利用できません。

microSD カードの取り外しかた

microSD カードを取り外すときは、FOMA 端末を手に持って行ってください。

1 microSD カードを矢印 ❶ の方向に軽く押し込む

2 microSD カードを矢印 ❷ の方向にまっすぐ抜き取る

microSD カードをフォーマットする

microSD カードをフォーマット（初期化）してFOMA 端末で使用できるようにします。

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「microSD フォーマット」

2 「はい」▶ 端末暗証番号を入力

Information

- フォーマットは必ず本 FOMA 端末で行ってください。
- フォーマットを行うと、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」／「ミュージック」／「ｉモーション／ムービー」／「メロディ」

2 「microSD」を2回タッチ

- 手順1で「ミュージック」を選択した場合は、「microSD」ではなく「移行可能コンテンツ」と表示されます。

FOMA端末⇔microSDカード間でファイルをコピー／移動する

データBOX内の「microSD」フォルダとその他のフォルダ間でファイルをコピー／移動することで、microSDカード⇔FOMA端末間でファイルをコピー／移動します。

例：FOMA端末内に保存されたデコメピクチャ画像を、microSDカードに移動する場合

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

2 フォルダを2回タッチ

- 「microSD」以外のフォルダを選択します。

3 ファイルをタッチ▶目▶「移動」▶「1件」

4 「microSD」

5 移動先のフォルダをタッチ▶［選択］

データを microSD カードにバックアップする

FOMA 端末に登録されている個人情報のデータを、データの種類を選択して一括で microSD カードにコピーします。

個人情報のデータには、次のものがあります。

- 電話帳
- スケジュール
- メモ
- To Do リスト
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- Bookmark

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「個人情報」

2 [バックアップ] ▶ コピーしたいデータの種類をタッチ

3 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

パソコンと接続する

FOMA 端末とパソコンを接続して、microSD カード内の WMA ／ MP3 ファイルや画像などをやりとりすることができます。
また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- データ通信用 USB ケーブル（試供品）が必要です。
- データ通信を行うには、付属の CD-ROM から L-03C 通信設定ファイルをインストールする必要があります。詳しくは、付属の CD-ROM 内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

Information

- USB HUB を使用すると、正常に動作しない場合があります。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→ P88）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	症　状	チェック
電源	FOMA 端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • 電池切れになっていませんか。
充電	充電ができない （充電ランプが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと FOMA 端末が正しくセットされていますか。 • AC アダプタ（別売）をご使用の場合、AC アダプタのコネクタと FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 が FOMA 端末にしっかりと接続されていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA 端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA 端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行った場合などには、FOMA 端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
	電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
	キーを押しても動作しない	• オールロックを設定していませんか。
	FOMA カードが認識しない	• FOMA カードを正しい向きで挿入していますか。
	時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動時刻時差補正が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
通話	ダイアルアイコンをタッチしても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。 • オールロックを設定していませんか。 • セルフモードを設定していませんか。

カテゴリ	症　状	チェック
通話	通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池または FOMA カードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は Yall を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • リスト指定着信拒否、電話帳指定着信許可／拒否など着信制限を設定していませんか。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より一年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本 FOMA 端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損･変形していた場合（microUSB接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

- FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後 4 年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お願い

- FOMA 端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより FOMA 端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA 端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA 端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA 端末の状態によっては修理できないことがあります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト：ｉMenu▶お知らせ▶サポート情報▶お問い合わせ▶故障・電波状況お問い合わせ先▶ｉモード故障診断

※海外からのアクセスの場合は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能※です。

※カメラ機能の更新は、ソフトウェア更新では行われません。カメラ機能の更新については「カメラ機能を更新する」（P90）を参照してください。

ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただしダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用できません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

更新方法

ソフトウェア更新を起動するには、基本待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

1 （更新お知らせアイコン）を選択する場合

基本待受画面 ▶ （更新お知らせアイコン）をタッチ ▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

その他

メニュー画面から行う場合

MENU ▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「更新実行」

通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かチェックされます。

- 更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新が不要の際は「更新の必要はありません」と表示されますので、そのままご利用ください。

カメラ機能を更新する

FOMA 端末のカメラ機能を更新する必要がある場合に、パソコンでダウンロードしたソフトウェアの一部を、microSD カードを使ってカメラ機能を更新する機能です。

FOMA 端末のカメラを操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA 端末のカメラ機能の操作性を向上させることができます。

カメラ機能の更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉ Menu の「お客様サポート」にてご案内させていただきます。

カメラ機能のソフトウェアのダウンロードおよびインストールの手順については、次のホームページをご覧ください。

http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

Information

- カメラ機能の更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

有害なデータをチェックする

FOMA 端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に FOMA 端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが FOMA 端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことが出来ませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは FOMA 端末の機種ごとにデータの内容が異なります。弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 **MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶「はい」▶「はい」**

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

2 **［OK］**

スキャン結果の表示について

● スキャンされた問題要素の表示について

警告レベルを示す画面で「詳細」を選択すると、右のような問題要素の一覧画面が表示されます。

- 画面はイメージです。実際の画面では、「XXXXXXXX」の部分に検出されたデータ名が表示されます。
- 検出されたデータの種類によっては、「詳細」が表示されない場合があります。
- 問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素の表示は省略され、合計件数のみ表示されます。

● スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があるため 終了します OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります データを削除しますか? はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できないため データを削除します OK 詳細
「OK」：動作を継続します。	「はい」：動作を中止して、終了します。 「いいえ」：動作を継続します。	「OK」：動作を中止して、終了します。	「はい」：データを削除して、終了します。 「いいえ」：動作を中止して、終了します。	「OK」：データを削除して、終了します。

- スキャン結果によっては、画面表示が異なる場合があります。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック L09
- FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01
- イヤホンジャック変換アダプタ L01
- FOMA AC アダプタ 01※1※2 ／ 02※1※2
- FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01※1※2
- FOMA DC アダプタ 01※1 ／ 02※1
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- キャリングケース 02

※ 1 L-03C に接続するには、付属の FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 が必要です。

※ 2 AC アダプタの充電方法について→ P21

その他

メニュー一覧

■の項目は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。→P43

コミュニケーション

● 電話帳

電話帳登録	
電話帳検索■	
電話帳登録件数	
電話帳設定	通常検索モード設定■
	ドメインリスト作成
	着信許可／拒否リスト
	画像表示設定
グループ設定	
通話時間表示	
通話料金表示	積算料金表示
	通話料金上限通知■
	上限通知アイコン消去

● iモード

i Menu・検索	
Bookmark	
画面メモ	
ラストURL	
URL入力	URL直接入力
	URL入力履歴
iモード設定	iモードブラウザ設定■
	フルブラウザ設定■
	共通設定
	iモード設定確認
	iモード設定リセット
インターネット検索	

● iチャネル

iチャネル一覧
iチャネル設定
iチャネル初期化

● メール

受信メール	受信 BOX
	メッセージ R
	メッセージ F
送信メール	送信 BOX
未送信メール	
新規メール作成	
新規デコメアニメ作成	
新規 SMS 作成	
テンプレート	
i モード問い合わせ	
SMS 問い合わせ	
メール選択受信	
メール設定	メール選択受信設定
	添付ファイル
	i モード問い合わせ設定
	文字サイズ
	フォルダセキュリティ
	メロディ自動再生
	受信表示
	メッセージ自動表示設定
	メールグループ
	自動振り分け設定
	SMS 設定
	端末情報利用設定
	編集
	メール設定確認
	メール設定リセット

● フルブラウザホーム

フルブラウザホーム

● 通話 / メール履歴

着信履歴
リダイヤル
通話最新履歴
メール受信履歴
メール送信履歴
メール最新履歴

● ダイヤル

ダイヤル

● 自局番号

自局番号

マルチメディア

● データBOX

マイピクチャ	ｉモード
	カメラ（microSD）
	デコメピクチャ
	デコメ絵文字
	プリインストール
	フレーム
	データ交換
	スライドショー
	microSD
	ｉモードで探す
ミュージック	プレイリスト
	ｉモード
	移行可能コンテンツ
	続きから再生
	PCから転送した曲
	ｉモードで探す
Music&Video チャネル	配信番組
ｉモーション／ムービー	ｉモード
	カメラ（microSD）
	プリインストール
	プレイリスト
	データ交換
	microSD
	ｉモードで探す
メロディ	ｉモード
	プリインストール
	データ交換
	microSD
	ｉモードで探す
その他	

● ｉアプリ

ソフト一覧	
ｉアプリ情報	セキュリティエラー履歴
	自動起動情報
	トレース情報
	待受画面エラー情報
ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定
	自動起動設定
	待受画面表示終了

● ミュージックプレーヤー

全曲
プレイリスト
アーティスト
ジャンル
アルバム

Music&Video チャネル

番組 1
番組 2
番組設定
番組リスト
サービスのご案内

Google

Google

ドキュメントビューア

ドキュメントビューア

Muvee Studio

Muvee Studio

ゲーム

おみくじ
M-toy ダーツ
M-toy ホームランダービー
リアルモーションフィッシング
間違い探し

ユーティリティ

スケジュール

スケジュール

電卓

電卓

アラーム

アラーム

使いかたガイド

メニュー検索
機能ガイド
イントロアニメーション
困ったとき

Bluetooth

Bluetooth
登録機器リスト
新規機器登録
Bluetooth 受信
ダイヤルアップ登録待受
OSP 登録待受
接続待機
Bluetooth 設定

辞典

辞典

FOMA 通信環境

FOMA 通信環境

その他機能

microSD	個人情報
	データ更新
	メモリ情報
	microSD フォーマット
ケータイデータお預かりサービス	お預かりセンターに接続
	通信履歴表示
	電話帳内画像送信設定
テキストメモ	
伝言メモ	伝言メモ設定
	伝言メモ一覧
To Do リスト	
世界時計	
ストップウォッチ	
単位交換ツール	

設定

音／バイブ／マナー

着信音選択
タッチ設定
効果音選択
音量設定
バイブレータ設定
マナーモード設定
メール鳴動設定
呼出動作開始時間設定
イヤホン切替設定

表示

待受画面設定	基本待受画面設定
	使用者待受画面設定
メニュータイプ	
ロック画面設定	
着信画面設定	
ウェイクアップ設定	
クイックダイヤル	
自動表示回転	
イルミネーション設定	
照明設定	

ロック／セキュリティ

ロック
シークレットモード
履歴表示設定
端末暗証番号変更
PIN コード
スキャン機能

メニュータイプ

メニュータイプ

NW サービス

留守番電話
キャッチホン
転送でんわ
迷惑電話ストップ
発信者番号通知
番号通知お願いサービス
通話中着信設定
通話中の着信動作選択
遠隔操作設定
デュアルネットワーク
英語ガイダンス
ドコモへのお問い合わせ
マルチナンバー
着もじ
追加サービス
ローミングガイダンス設定
ローミング着信通知設定
応答メッセージ

発着信／通話機能

着信機能	オート着信設定
	着信許可／拒否
	非通知着信
	応答保留音
	電話帳画像表示
	メロディコール設定
テレビ電話	テレビ電話設定
	代替画像
	応答保留画像
	通話中保留画像
通話機能	再接続アラーム
	通話品質アラーム
	通話中保留音
	ノイズキャンセラ
セルフモード	
プレフィックス設定	
サブアドレス設定	
イヤホンスイッチ発信設定	イヤホンスイッチ設定
	発信メモリ番号

USB モード設定

USB モード設定

その他設定

国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定
	国際プレフィックス
	国番号設定
	国番号一覧
国際ローミング設定	ネットワーク
	留守番電話（海外）
	転送でんわ（海外）
	遠隔操作設定（海外）
	番号通知お願いサービス設定(海外)
	ローミングガイダンス設定（海外）
	ローミング時着信規制
	ローミング着信通知設定（海外）
	海外ご利用ガイド
日付／時刻	日付／時刻設定
	日付／時刻表示設定
	時刻お知らせ
Select language	
文字入力	定型文編集
	顔文字編集
	辞書編集
	デコメ絵文字辞書
	ダウンロード辞書
	学習辞書作成
	学習情報リセット
	予測入力
メモリ状況	
eco モード	
電池残量	
リセット／削除	
ソフトウェア更新	更新実行
	自動更新設定

主な仕様

● 本体

品　名			L-03C
サイズ（H × W × D）			約 112mm ×約 60mm ×約 17.3mm（最厚部：約 22mm）
質　量			約 165g（電池パック装着時）
連続待受時間	FOMA／3G	3G／GSM 切替：3G	移動時：約 330 時間
		3G／GSM 切替：自動	静止時：約 420 時間 移動時：約 250 時間
	GSM	3G／GSM 切替：自動	静止時：約 310 時間
連続通話時間	FOMA／3G		音声電話時：約 300 分 テレビ電話時：約 130 分
	GSM		音声電話時：約 250 分
充電時間			AC アダプタ：約 220 分 DC アダプタ：約 220 分
ディスプレイ	方式		TFT 16,777,216 色
	サイズ		約 3.0inch
	画素数		384,000 画素 （480 ドット× 800 ドット）

撮像素子	種類		CCD
	サイズ		1/2.3inch
	有効画素数		約 1210 万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）		約 1200 万画素
	ズーム（光学）		最大約 3.0 倍／ 7 段階（静止画撮影時） 最大約 3.0 倍／ 7 段階（動画撮影時）
	ズーム（デジタル）		最大約 4.0 倍／ 30 段階（静止画撮影時） 最大約 4.0 倍／ 30 段階（動画撮影時）
	撮影距離（レンズの先端から）	自動	広角時：約 0.5m- ∞ 望遠時：約 0.6m- ∞
		マクロ	広角時：約 0.1m-0.8m 望遠時：約 0.4m-0.8m
記録部	静止画保存枚数		約 61,000 枚※1
	静止画連続撮影		12M（4000x3000）／ 8M（3264x2448）／ 5M（2560x1920）：3 枚 Wide 4M（2560x1440）／ Full HD（1920x1080）／ 2M（1600x1200）／ 1M（1280x960）／

記録部	静止画連続撮影	HD（1280x720）／ 待受画面（800x480）／ VGA（640x480）／ QVGA（320x240）／ QCIF（176x144）：10 枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約 80 分※2
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	着うたフル®（バックグラウンド再生対応）： 約 800 分※3 ｉモーション※4： 約 200 分※3 WMA ファイル（バックグラウンド再生対応）： 約 800 分 MP3 ファイル（バックグラウンド再生対応）： 約 800 分 Music & Video チャネル： Music： 約 800 分（バックグラウンド再生対応） Video：約 200 分
保存容量	着うた®／着うたフル®	約 137MB※5 （お買い上げ時）

※1 microSD カード（2GB） サイズ選択：QVGA（320×240）
画質設定：標準

※2 以下の条件で保存できる 1 回あたりの最大録画時間です。
microSD カード（2GB） サイズ選択：QCIF（176×144）
画質設定：標準 撮影種別：音声＋映像

※3 ファイル形式：AAC 形式

※4 音声のみのｉモーション

※5 Music&Video チャネルと共有

● 電池パック

品 名	電池パック L09
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1200mAh

FOMA 端末の最大保存件数

種　別		最大保存件数
電話帳		1000 件※1
スケジュール	スケジュール	200 件
	休日	80 件
	祝日	20 件※2
メール※3	受信メール※4	1,000 件
	送信メール／未送信メール	500 件
Bookmark※5		200 件
画面メモ		50 件
ｉアプリ		100 件※6
データ BOX	画像※7	2,000 件※6
	動画／ｉモーション	2,000 件※6
	メロディ	2,000 件※6

※ 1　50 件まで FOMA カードに保存できます。
※ 2　お買い上げ時に設定されている祝日を含みます。
※ 3　ｉモードメールと SMS の合計件数となります。
※ 4　「受信 BOX」フォルダに保存されている「♪ Welcome Mail ♪」「Welcome E ★エブリスタ」の件数を含みます。
※ 5　Bookmark は、ｉモードの Bookmark とフルブラウザの Bookmark の合計の件数となります。
※ 6　お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※ 7　スライドショーは最大 30 件（画像の最大保存件数 2000 件に含む）保存できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 L-03C の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の側頭部におけるSAR の最大値は 0.494W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から 1.5 センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

：http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

：http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ

：http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

LG Mobile ホームページ

：http://www.lg.com/jp/

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の２）で規定されています。

※ 2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、2010 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です（2010 年 12 月現在）。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.19W/kg, and when worn on the body, is 0.38W/kg.
(Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL03C.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product “L-03C” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.756W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「マルチナンバー」「Music&Video チャネル」「メロディコール」「docomo PRO series」および「ｉ-mode」ロゴ、「ｉ-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc. の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Adobe および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、モバイルGoogle マップは、Google, Inc. の登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsysytems,Inc. の商標または登録商標です。
- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc. の日本における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は Adobe Systems Incorporated の Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。
  ADOBE FLASH ENABLED

  Adobe、Flash および Flash Lite は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。、
- 本書では各 OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vista は、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XP は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4 ビデオを再生する場合
  - MPEG-LA よりライセンスをうけた提供者から入手された MPEG-4 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

その他

Quick Manual

Part Names and Functions

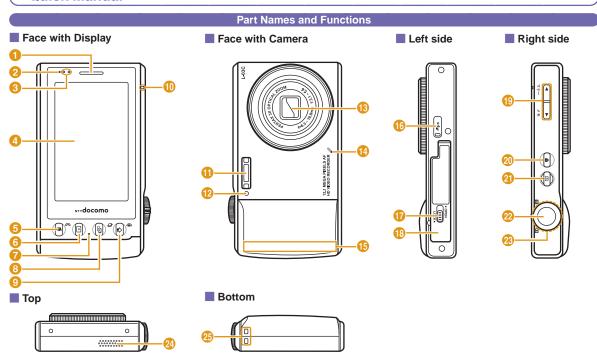
Face with Display

Face with Camera

Left side

Right side

Top

Bottom

1	Earpiece	11	Flash	21	Switch mode key
2	Charging light	12	Photo light (face with camera)	22	Shutter key
3	Proximity sensor	13	Camera	23	Zoom wheel
4	Display (touch panel)	14	Microphone	24	Speaker
5	Start key	15	FOMA antenna	25	Strap hole
6	Album display key	16	microUSB connector terminal		
7	Mouthpiece	17	Battery pack cover lever		
8	Multitask key/Switch image/video key	18	Battery pack cover		
9	Power/Exit key	19	(マナー) (メモ)Volume keys		
10	Photo light (face with display)	20	Lock key		

Switching Display Languages

▶ "Other setting" ▶ "マルチリンガル" ▶ "日本語"/"English"/"한국어"

Saving Phonebook Entries

(For over 1 seconds) ▶ Enter each item ▶ [Save]

Select a saving destination
"Registered memory" ▶ "Phone"/"UIM"

Set a memory number
Touch field ▶ Enter a memory number

Set a name
"Name" ▶ Enter a name

Set a reading
"Reading" ▶ Enter a reading

Set a phone number
"Phone number1" ▶ "Refer to history"/"Direct input" ▶ Select icon

Set a mail address
"Mail address1" ▶ Enter a mail address ▶ Select icon

Set a group
"Group" ▶ Select a group

Voice/Videophone Calls

Making a Voice Call

Stand-by display ▶ ▶ Enter a phone number ▶ [Call] (or) ▶ To end the call,

Making a Videophone Call

Stand-by display ▶ ▶ Enter a phone number ▶ [V. phone] ▶ To end the call,

Receiving a Voice Call

Receive a voice call ▶ [Answer](or) ▶ To end the call,

Receiving a Videophone Call

Receive a videophone call ▶ [Answer](or) ▶ To end the call,

Making a Voice Call from Phonebook

▶ Touch an entry ▶ [Call] (or)

- To make a videophone call, touch [V. phone].

その他

Character Entry

* "韓" appears when "SMS input character" is set to "JP/KR(70Chara)".

Switching Input Modes in SMS Message

You can send/receive SMS in Korean between terminals that support Korean. To enter text in Korean, set "JP/KR(70Chara)"

▶ "Mail setting" ▶ "SMS setting" ▶ "SMS input character" ▶ "JP(70Chara)"/"JP/KR(70Chara)"/ "English(160Chara)"

Main Operations on Character Entry Screen

■ **Switch input modes**
[Mode] ▶ Select an input mode

■ **Switch between full-pitch/half-pitch**
[Mode] ▶ Select full-pitch/half-pitch by touch

■ **Switch to Pictograph/Symbol/Emoticon input mode**
[Pict/Sym] ▶ Select [Picto.]/[Picto. D]/[Half symbol]/[Full symbol]/[Emotion] by touch

■ **Enter voiced/semi-voiced sound symbol or switch upper/lower case**
Enter a character and touch several times

■ **Enter punctuation**
Touch several times

■ **Enter a line feed**
▶ "Special input" ▶ "Changing Line"/Touch

■ **Enter a space**
▶ "Special input" ▶ "Space"/ at the end of a sentence

Example of Character Entry

■ **Enter "ドコモ (DOCOMO)"**
Enter "どこも (DOCOMO)" in Hiragana and Kanji mode

"ど (DO)" : Touch [た] 5 times ▶ once
"こ (CO)" : Touch [か] 5 times
"も (MO)" : Touch [ま] 5 times

▶ Double touch [Conv.], move the cursor to prediction options ▶ Double touch "ドコモ (DOCOMO)" ▶ "Set"

i-mode Mail

Composing/Sending i-mode Mail

■ **Display the Compose message screen**
▶ "Compose message"

■ **Enter a receiver**
Touch To field ▶ "Direct input" ▶ Enter an address

■ **Enter a subject**
Double touch Sub field ▶ Enter a subject

■ **Enter a message**
Double touch [Message] field ▶ Enter message text

■ **Send mail**
[Send]

Receiving i-mode Mail

When i-mode mail arrives ▶ "Mail" ▶ Double touch a folder ▶ Double touch an i-mode mail to display

Checking New Messages

▶ "Check new messages"

Other Mail Functions

■ **Reply to mail**
Open the mail to reply ▶ ▶ "Reply/Forward" ▶ "Reply"/"Reply with quote" ▶ Enter subject and message text ▶ [Send]

■ **Forward mail**
Open the mail to forward ▶ ▶ "Reply/Forward" ▶ "Forward" ▶ Enter an address ▶ [Send]

Composing/Sending SMS

▶ "Compose SMS" ▶ Touch To field ▶ "Direct input" ▶ Enter a phone number ▶ Double touch [Message] field ▶ Enter message text ▶ [Send]

Using Camera

Shooting Still Images

Stand-by display ▶ ▶ Frame the shot ▶ Press Shutter key

Shooting Moving Pictures

Stand-by display ▶ ▶ Frame the shot ▶ Press Shutter key ▶ Press Shutter key

Viewing Albums

Stand-by display/Still images screen/Moving pictures screen ▶ ▶ Slide

Playing Music Data

▶ "MUSIC Player" ▶ Double touch music data

Network Services

Voice Mail Service

■ **Play messages**
▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Play messages" ▶ "Play(voice call)"/"Play(videophone)" ▶ "Yes" ▶ Follow the instructions of the voice guidance

■ **Activate Voice Mail Service**
▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Activate" ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter the ring time by touch the dial keys ▶ "Set"

■ **Deactivate Voice Mail Service**
▶ "NW Services" ▶ "Voice mail" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

Call Waiting

■ **Activate Call Waiting**
▶ "NW Services" ▶ "Call waiting" ▶ "Activate" ▶ "Yes"

■ **Deactivate Call Waiting**
▶ "NW Services" ▶ "Call waiting" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

■ **Hold the active call to answer another call**
A call arrives ▶ [Answer]

Call Forwarding Service

■ **Activate Call Forwarding Service**
▶ "NW Services" ▶ "Call forwarding" ▶ "Activate" ▶ "Yes" ▶ "Register the forwarding number" ▶ Touch [Set forward phone no.] field ▶ Enter the phone number to forward by touch the dial keys ▶ [Done] ▶ "Set ring time" ▶ Enter the ring time by touch the dial keys ▶ [Activate]

■ **Deactivate Call Waiting**
▶ "NW Services" ▶ "Call forwarding" ▶ "Deactivate" ▶ "Yes"

Overseas Use

See the following items before using the FOMA terminal overseas.

- "Mobile Phone User's Guide [International Services]"
- "Mobile Phone User's Guide [Network Services]"
- DOCOMO International Services website
- "Int'l Service Guide (Japanese only)" pre-installed on the FOMA terminal

Making a Call to Japan

Stand-by display ▶ ▶ [0] (for over 1 second) ▶ [8][1] ▶ Enter the other party's phone number except the first "0" ▶ [Call] (or)

- To make a videophone call, touch [V. phone].

Making a Call to Outside the Country You Stay (except Japan)

Stand-by display ▶ [icon] ▶ [0] (for over 1 second) ▶ Enter "Country code - Area code (City code) - Other party's phone number" ▶ [Call] (or [icon])

- To make a call to an overseas WORLD WING user, enter "81" as a country code to make an international call to Japan.
- If an area code (city code) starts with "0", remove "0". (When calling some countries such as Italy, "0" may be required.)
- To make a videophone call, touch [V. phone].

Making a Call to a Person in the Country You Stay

Stand-by display ▶ [icon] ▶ Enter "Area code (City code) - Other party's phone number" ▶ [Call] (or [icon])

- To make a videophone call, touch [V. phone].

Setting after Returning to Japan

By default, when you return to Japan, the FOMA terminal automatically connects to the FOMA network.

■ **When not connecting to the FOMA network automatically**

[MENU] ▶ "Other setting" ▶ "International roaming" ▶ "Network" ▶ "3G/GSM setting" ▶ "Auto" ▶ "Network search mode" ▶ "Auto" ▶ "Yes"

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

* Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.
* Unavailable from part of IP phones

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

* Unavailable from land-line phones, etc.

■ From land-line phones (In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

* Unavailable from part of IP phones

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

* Unavailable from land-line phones, etc.

■ From land-line phones (In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

* Unavailable from part of IP phones

•Please confirm the phone number before you dial.

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center> (24 hours)

(In Japanese only)

■ From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay **-81-3-6832-6600* (toll free)**

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
* If you use L-03C, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter '+', touch the [0] for at least one second).

■ From land-line phones <Universal Number>

Universal number international prefix **-8000120-0151***

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

● **If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.**

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center> (24 hours)

■ From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414* (toll free)**

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
* If you use L-03C, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter '+', touch the [0] for at least one second).

■ From land-line phones <Universal Number>

Universal number international prefix **-8005931-8600***

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

● **If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.**

퀵매뉴얼

각 부분의 명칭과 기능

1	수화구	11	플래쉬	21	(📷)스위치 모드 버튼
2	충전 라이트	12	포토 라이트 (카메라면)	22	셔터 버튼
3	근접 센서	13	카메라	23	줌 휠
4	화면 (터치 패널)	14	마이크로폰	24	스피커
5	( )시작/통화 버튼	15	FOMA 안테나	25	액세사리 연결부
6	( )앨범 디스플레이 버튼	16	microUSB 연결부		
7	송화구	17	배터리 커버 레버		
8	( )멀티태스킹/스위치 이미지/비디오 버튼	18	배터리 커버		
9	( )전원/종료 버튼	19	( )(マナー) ( )(メモ)볼륨 버튼		
10	포토 라이트 (디스플레이면)	20	( )락 버튼		

표시 언어 전환

▶ "그외설정" ▶ "マルチリンガル" ▶ "日本語"/"English"/"한국어"

전화번호부 등록

(1초 이상) ▶ 항목을 각각 입력 ▶ [저장]

■ **등록처 선택**

"저장메모리" ▶ "휴대폰"/"FOMA카드(UIM)"

■ **메모리 번호 설정**

란을 터치 ▶ 메모리 번호 입력

■ **이름 설정**

"이름" ▶ 이름 입력

■ **후리가나 설정**

"후리가나" ▶ 후리가나 입력

■ **전화번호 설정**

"전화번호1" ▶ "이력참조"/"직접입력" ▶ 아이콘 선택

■ **Mail 주소 설정**

"Mail 주소1" ▶ Mail 주소 입력 ▶ 아이콘 선택

■ **그룹 설정**

"그룹" ▶ 그룹 선택

음성 / 영상통화

음성통화 걸기

대기화면 ▶ ( ) ▶ 상대의 전화번호 입력 ▶ [통화] (또는 ( )) ▶ 통화가 끝나면 ( )

영상통화 걸기

대기화면 ▶ ( ) ▶ 상대의 전화번호 입력 ▶ [영상통화] ▶ 통화가 끝나면 ( )

음성통화 받기

음성통화 착신 ▶ [응답] (또는 ( )) ▶ 통화가 끝나면 ( )

영상통화 받기

영상통화 착신 ▶ [응답] (또는 ( )) ▶ 통화가 끝나면 ( )

전화번호부에서 음성통화 걸기

▶ 전화를 걸고 싶은 상대를 터치 ▶ [발신] (또는 ( ))

- 영상 통화의 경우, [영상통화]를 누르세요.

문자 입력

* "韓" 은 "SMS 본문입력"을 "일/한(70문자)"으로 설정한 경우에 표시됩니다.

SMS 본문에서 입력 모드 전환하기

한국어를 지원하는 단말기 간에 한국어로 입력된 SMS를 송수신할 수 있습니다. 한국어를 입력하려면 "일/한(70문자)"으로 설정하십시오.

▶ "Mail설정" ▶ "SMS설정" ▶ "SMS본문입력" ▶ "일본어(70문자)"/"일/한(70문자)"/"영어(160문자)"

문자 입력 화면에서의 주요 조작

■ **입력 모드 전환하기**
[문자] ▶ 선택할 입력모드

■ **전각/반각 전환하기**
[문자] ▶ 전각 문자/반각 문자를 터치

■ **그림 문자/기호/이모티콘 입력 모드로 전환하기**
[기호] ▶ "그림문자D/그림문자"/"전각기호/반각기호"/"이모티콘"

■ **탁음, 반탁음 입력/대문자 또는 소문자 전환**
문자를 입력하고 ▶ 여러 번 터치

■ **구두점 입력**
를 여러번 터치

■ **줄바꾸기 입력**
▶ "특수 입력" ▶ "줄바꿈"/ 를 터치

■ **스페이스 입력**
▶ "특수 입력" ▶ "공백"/문장 끝에서 를 터치

문자 입력 예

■ **"ドコモ (도코모)" 입력하기**
"ど (도)" : [た] 5회 터치 ▶ 1회 터치
"こ (코)" : [か] 5회 터치
"も (모)" : [ま] 5회 터치
▶ [변환]을 두번 터치하여, 변환후보로 커서를 이동 ▶ "ドコモ(도코모)"를 두번 터치 ▶ "확정"

■ **한국어로 "도코모" 입력하기"도코모" 입력**
"도" : [ㄴ] 1회 ▶ [획추가] 1회 ▶ [ㅗㅜ] 1회
"코" : [ㄱ] 1회 ▶ [획추가] 1회 ▶ [ㅗㅜ] 1회
"모" : [ㅁ] 1회 ▶ [ㅗㅜ] 1회

i-mode Mail

i-mode Mail 작성/송신

■ **새 Mail 작성 화면 표시**
▶ "새Mail작성"

■ **주소 입력**
To 란을 터치 ▶ "직접입력" ▶ 주소 입력

■ **제목 입력**
Sub 란을 두번 터치 ▶ 제목 입력

■ **내용 입력**
[Message] 열을 두번 터치 ▶ 내용 입력

■ **Mail 송신**
[송신]

i-mode Mail 수신

i-mode Mail 수신 ▶ "받은Mail" ▶ 수신 폴더를 두번 터치 ▶ 표시할 i-mode Mail을 두번 터치

i-mode메시지확인

▶ "i-mode메시지확인"

기타 Mail 기능

■ **Mail 회신**
회신할 Mail 표시 ▶ ▶ "답장/전달" ▶ "답장"/"인용첨부답장" ▶ 제목, 내용 입력 ▶ [송신]

■ **Mail 전달**

전달할 Mail 표시 ▶ ▶ "답장/전달" ▶ "전송" ▶ 주소 입력 ▶ [송신]

SMS 작성/송신

▶ "새SMS작성" ▶ To란을 터치 ▶ "직접입력" ▶ 전화번호 입력 ▶ [Message]란을 두번 터치 ▶ 내용 입력 ▶ [송신]

카메라 기능

사진 촬영

대기 화면 ▶ ▶ 피사체를 확인 ▶ 셔터 버튼

동영상 촬영

대기 화면 ▶ ▶ 피사체를 확인 ▶ 셔터 버튼 ▶ 셔터 버튼

앨범 보기

대기 화면/사진 촬영 화면/동영상 촬영 화면 ▶ ▶ 슬라이드

음악 데이터 재생

MENU ▶ "뮤직 플레이어" ▶ 음악 데이터를 두번 터치

네트워크 서비스

음성사서함서비스

■ **음성사서함메시지 재생**

MENU ▶ "네트워크 서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함메시지재생" ▶ "재생(음성통화)"/"재생(영상통화)" ▶ "예" ▶ 음성 안내에 따라 실행

■ **음성사서함서비스시작**

MENU ▶ "네트워크 서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함서비스시작" ▶ "예" ▶ "예" ▶ 다이얼 버튼으로 호출 시간 입력 ▶ [확정]

■ **음성사서함서비스정지**

MENU ▶ "네트워크 서비스" ▶ "음성사서함서비스" ▶ "음성사서함서비스정지" ▶ "예"

통화중대기서비스

■ **통화중대기서비스시작**

MENU ▶ "네트워크서비스" ▶ "통화중대기서비스" ▶ "통화중대기서비스시작" ▶ "예"

■ **통화중대기서비스정지**

MENU ▶ "네트워크서비스" ▶ "통화중대기서비스" ▶ "통화중대기서비스정지" ▶ "예"

■ **통화를 보류하고 걸려온 전화 받기**

전화가 걸려오면 ▶ [응답]

전송전화서비스

■ **전송전화서비스시작**

MENU ▶ "네트워크서비스" ▶ "전송전화" ▶ "전송전화서비스시작" ▶ "예" ▶ "전송전화번호변경" ▶ [전송전화번호]란을 터치 ▶ 전송전화번호 입력 ▶ [완료] ▶ "호출시간설정" ▶ 다이얼 버튼으로 호출시간 입력 ▶ [전송전화서비스시작]

■ **전송전화서비스정지**

MENU ▶ "네트워크서비스" ▶ "전송전화" ▶ "전송전화서비스정지" ▶ "예"

해외 이용

해외에서 FOMA 단말기를 사용하기 전에 다음과 같은 항목을 참조하세요.

- "Mobile Phone User's Guide [International Services]"
("이용 가이드북[국제 서비스편]")
- "Mobile Phone User's Guide [Network Services]"
("이용 가이드북[네트워크 서비스편]")
- 도코모 국제 서비스 홈페이지
- FOMA의 단말기에 설치되어 있는 "해외이용가이드(일본어 전용)"

일본에 전화 걸기

대기 화면 ▶ ▶ [0] (1초 이상) ▶ [8][1] ▶ 첫 번째 숫자 "0"을 빼고 상대방의 전화번호를 입력 ▶ [통화] (또는)

- 영상 통화의 경우, [영상통화]를 누르세요.

체재 국가에서 타국(일본이외)으로 전화 걸기

대기 화면 ▶ (📞) ▶ [0] (1초 이상) ▶ "국가번호-지역번호 (도시번호)-상대방의 전화번호" 입력 ▶ [통화] (또는 (📞))

- 해외 WORLD WING 사용자에게 전화를 걸 때는 국가번호 "81"을 입력하여 일본에 국제전화로 전화를 걸어 주세요.
- 지역코드(도시 코드)가 "0"으로 시작할 때 "0"을 삭제하세요.(이탈리아와 같은 몇몇 국가에 전화를 걸 때는 "0"이 필요할 수도 있습니다.)
- 영상 통화의 경우, [영상통화]를 누르세요.

체재 국가 내에서 전화하기

대기 화면 ▶ (📞) ▶"지역코드(도시 코드)-상대방의 전화번호"입력 ▶ [통화] (또는 (📞))

- 영상 통화의 경우, [영상통화]를 누르세요.

귀국 후 설정

구입 시에는 귀국 후 자동으로 FOMA 네트워크에 접속되도록 설정되어 있습니다.

■ FOMA 네트워크로 전환되지 않는 경우

MENU ▶ "그외설정" ▶ "국제로밍" ▶ "네트워크" ▶ "3G/GSM 전환" ▶ "자동" ▶ "네트워크검색설정" ▶ "자동" ▶ "예"

문의 정보

종합 문의처<도코모 인포메이션 센터>

(이용시간: 오전 9:00부터 오후 8:00까지)

0120-005-250 (무료)

*영어, 포르투갈어, 중국어, 스페인어, 한국어로 지원됩니다.
*일부 IP전화는 사용불가

(이용시간: 오전 9:00부터 오후 8:00까지(연중무휴))

■ 도코모 휴대폰 사용할 때 (일본어 전용)

(국번없이) 151 (무료)

*일반 전화로는 이용할 수 없습니다.

■ 일반 전화 사용할 때 (일본어 전용)

0120-800-000 (무료)

*일부 IP전화는 사용불가

고장 문의처

(이용시간: 24시간(연중무휴))

■ 도코모 휴대폰 사용할 때 (일본어 전용)

(국번없이) 113 (무료)

*일반 전화로는 이용할 수 없습니다.

■ 일반 전화 사용할 때 (일본어 전용)

0120-800-000 (무료)

*일부 IP전화는 사용불가

• 통화 버튼을 누르기 전에 입력한 전화번호가 올바른지 확인하세요.

해외에서의 FOMA 단말의 분실, 도난, 정산에 대하여<도코모 인포메이션 센터> (24시간 접수)

(일본어 전용)

■ 도코모 휴대폰 사용할 때

체재 국가의 국제전화 접속 번호	**-81-3-6832-6600* (무료)**

*일반 전화로 걸 때는 일본으로 걸 때 발생하는 국제 통화 요금이 부과됩니다.
*L-03C로 이용하는 경우에는 +81-3-6832-6600로 연결됩니다. ("+"는 [0]버튼을 1초 이상 누릅니다.)

■ 일반 전화 사용할 때<유니버셜 넘버>

유니버셜 넘버용 국제 식별 번호	**-8000120-0151***

*체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

● **분실 · 도난 등의 경우에는 신속히 이용정지를 신청하십시오.**

해외에서의 고장 <네트워크 지원 및 오퍼레이션 센터> (24시간 접수)

■ 도코모 휴대폰 사용할 때

체재 국가의 국제전화 접속 번호	**-81-3-6718-1414* (무료)**

*일반 전화로 걸 때는 일본으로 걸 때 발생하는 국제 통화 요금이 부과됩니다.
*L-03C로 이용하는 경우에는 +81-3-6718-1414로 연결됩니다. ("+"는 [0]버튼을 1초 이상 누릅니다.)

■ 일반 전화 사용할 때<유니버셜 넘버>

유니버셜 넘버용 국제 식별 번호	**-8005931-8600***

*체재 국가 내 통화 요금 등이 부과되는 경우가 있습니다.

● **고객님이 구입하신 FOMA 단말기가 고장난 경우에는 귀국 후에 도코모 지정 서비스 센터로 가져 오십시오.**

索引

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き **パケット通信料無料**

パソコンから My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲の心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

- 航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

- 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

- この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

ｉモードサイト　ｉMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-03Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-03Cからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

再生紙を使用しています　Printed in Korea

'10.12 (1.3版)
MFL67021802

L-03C パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、L-03C でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM 内の「L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

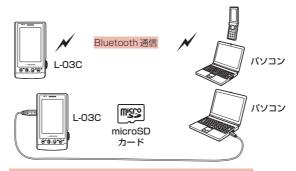
データ通信

FOMA 端末から利用できるデータ通信

FOMA 端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™ 通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64K データ通信には対応していません。
- Remote Wakeup には対応していません。
- FAX 通信はサポートしていません。
- ドコモの PDA「sigmarion Ⅲ」には対応していません。

データ転送（OBEX™ 通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他の FOMA 端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- データ通信用 USB ケーブル（試供品）
- microSD カード
- ドコモケータイ datalink

お知らせ

- ドコモケータイ datalink では、本 FOMA 端末からパソコンへの画像送信は行えません。
- FOMA 端末で全件データ受信時、通信が中断され全件転送できない場合は、FOMA 端末内のデータを全件削除してから再度操作してください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1 通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA パケット通信に対応した接続先を利用して、受信時最大 7.2Mbps ／送信時最大 2.0Mbps（ベストエフォート方式）※2 の高速通信を行うことができます。

※ 1　多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※ 2　• 最大 7.2Mbps･最大 2.0Mbps とは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
• FOMA ハイスピードエリア外や HIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

L-03C は、海外でも 3G または GPRS のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPa のアクセスポイントには接続できません。
- 「mopera」のサービス内容および接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信の条件

FOMA 端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※1 が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- データ通信用 USB ケーブル（試供品）が利用できるパソコンであること※2
- FOMA サービスエリア内であること
- アクセスポイントが FOMA のパケット通信に対応していること

※ 1　日本国内の場合です。
※ 2　USB 接続で通信を行う場合のみ必要です。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

- 動作環境の最新情報についてはドコモホームページをご確認ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC/AT 互換機で CD-ROM ドライブが使用できる機器 • USB ポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0 準拠） • ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット※5、High Color（65,536 色）以上を推奨
OS※1	• Windows 7（32 ビット／ 64 ビット） • Windows Vista（32 ビット／ 64 ビット） • Windows XP
必要メモリ※2	• Windows 7（32 ビット）：1G バイト以上 • Windows 7（64 ビット）：2G バイト以上 • Windows Vista：512M バイト以上 • Windows XP：128M バイト以上
ハードディスク容量※2※3	• 5M バイト以上の空き容量
Web ブラウザ※4	• Internet Explorer 6.0 以上
メールソフト※4	• Windows メール、および Outlook Express 6.0

※ 1　OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
※ 2　必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

※3　ドコモ コネクションマネージャは、10Mバイト以上の空き容量が必要です。
※4　ドコモ コネクションマネージャの場合のみ必要な動作環境です。
※5　ドコモ コネクションマネージャは、1024×600ドット以上が必要で、1024×768ドット以上を推奨します。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 7.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①「（スタート）」▶「コンピューター」を順にクリックする
  ■ Windows Vistaの場合
  「（スタート）」▶「コンピュータ」を順にクリックする
  ■ Windows XPの場合
  「スタート」▶「マイコンピュータ」を順にクリックする
  ② CD-ROMのアイコンを右クリック▶「開く」を選択
  ③「index.html」をダブルクリックする
  ※ Windows XPの場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降です。
- 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。

必要な機器

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- データ通信用USBケーブル（試供品）※
- L-03C用CD-ROM（付属品）

※ USB接続で通信を行う場合のみ必要です。

お知らせ
- USBケーブルは、データ通信用USBケーブル（試供品）を使用してください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

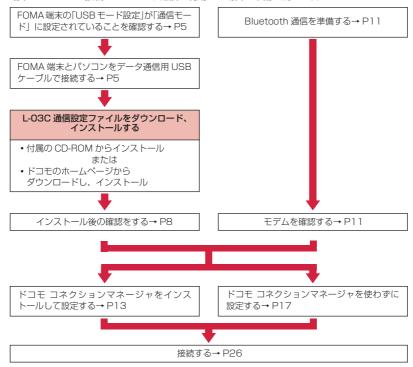
データ通信用USBケーブル（試供品）をご利用になる場合には、L-03C通信設定ファイルをインストールしてください。

L-03C通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール
  または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA 端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。

L-03C 通信設定ファイルとドコモ コネクションマネージャについて

L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）

FOMA 端末とパソコンをデータ通信用 USB ケーブル（試供品）で接続して、パケット通信やファイル転送をするために必要なソフトウェア（ドライバ）です。

ドコモ コネクションマネージャ

パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップなどの設定を簡単に行うためのソフトウェアです。

FOMA 端末とパソコンを接続する

FOMA 端末とパソコンをデータ通信用 USB ケーブル（試供品）で接続する方法について説明します。

USB モード設定

USB モードを設定する

FOMA 端末の「USB モード設定」を「通信モード」にします。

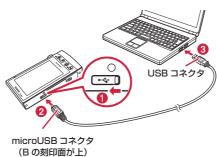
1 MENU ▶「USB モード設定」

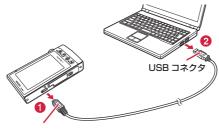
2 「通信モード」

お知らせ
- L-03C 通信モード動作中は、USB モード設定の変更はできません。

FOMA 端末とパソコンをデータ通信用 USB ケーブル（試供品）で接続する

1 FOMA 端末の microUSB 接続端子カバーを開け（❶）、データ通信用 USB ケーブルの microUSB コネクタの B の刻印面を上にしてまっすぐ差し込む（❷）

2 データ通信用 USB ケーブルの USB コネクタをパソコンの USB 端子に接続する（❸）

取り外しかた

① FOMA 端末の microUSB 接続端子からデータ通信用 USB ケーブル（試供品）を引き抜く（❶）

② パソコンの USB 端子からデータ通信用 USB ケーブルを引き抜く（❷）

お知らせ

- 通信の切断、誤動作、データ消失の原因となるため、データ通信中にデータ通信用 USB ケーブルを取り外さないでください。
- データ通信用 USB ケーブルのコネクタは無理に接続しないでください。故障の原因となります。各コネクタの向きや角度が正しくないと、接続できません。各コネクタの向きや角度が正しいときは、強い力を入れなくてもスムーズに接続できるようになっています。うまく接続できないときは、無理に行わずに、もう一度コネクタの向きや角度、形状などを確認してください。
- データ通信用 USB ケーブルは無理に取り外さないでください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

インストール／アンインストール時の注意点

L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）やドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストール時は、次の点にご注意ください。

- インストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストール／アンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストール／アンインストールを行う前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させてから行ってください。

■ Windows 7 の場合

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

■ Windows Vista の場合

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［許可］または［続行］をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA 端末とパソコンをはじめてデータ通信用 USB ケーブル（試供品）で接続する場合は、L-03C 通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

- L-03C 通信設定ファイルのインストールは、必ず FOMA 端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P6）を参照してください。

例：Windows 7 の場合

1 L-03C 用 CD-ROM をパソコンにセットする

「L-03C CD-ROM」画面が表示されます。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「L-03C 通信設定ファイル (USB ドライバ)」画面上の「インストール」をクリックする

4 開いたフォルダの中から「L03C_ins」をダブルクリックし、「ユーザーアカウント制御」画面で［はい］をクリックする

- Windows Vista の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面で［続行］をクリックします。
- Windows XP の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。

5 ［インストール開始］をクリックする

インストール完了画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

6 FOMA 端末とパソコンを接続する

パソコンが FOMA 端末を認識すると、ポップアップが出てドライバがインストールされます。
続いて、L-03C 通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→ P8

- 接続方法→ P5
- FOMA 端末の電源が入っている状態で接続してください。

インストールした L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

L-03C 通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

例：Windows 7 の場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックする

■ **Windows Vista の場合**
「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックします。

■ **Windows XP の場合**
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックします。

2 「デバイスマネージャー」をクリックする

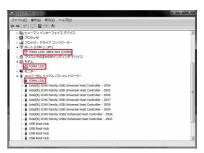
■ **Windows Vista の場合**
「デバイスマネージャ」▶［続行］を順にクリックします。

■ **Windows XP の場合**
「ハードウェア」タブをクリック ▶［デバイスマネージャ］をクリックします。

お知らせ

- L-03C 通信設定ファイルをインストールするときに、正常にインストールされない場合があります。このような場合は、アンインストールの操作を行って L-03C 通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールしてください。→ P10

3 各デバイス表示をクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」「ポート（COM と LPT）」「モデム」の各デバイスにすべてのドライバが表示されていることを確認します。

Windows 7 の場合

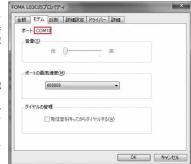
デバイス表示	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラー	FOMA L03C
ポート（COM と LPT）	FOMA L03C OBEX Port
モデム	FOMA L03C

FOMA 端末の通信ポート番号を確認するには

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定を行うときなどに、FOMA 端末のモデム名や通信ポート（COM ポート）の番号が必要になる場合があります。デバイスマネージャ画面から確認する方法を説明します。

① **FOMA 端末とパソコンを接続する**
- 接続方法→ P5

② **「インストールした L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作 1 〜 2 を行う**

③ **「モデム」をクリック ▶「FOMA L03C」を選択 ▶ メニューバーから［操作］▶［プロパティ］を順にクリック ▶「モデム」タブをクリックする**
「ポート :」の右側に FOMA 端末の COM ポート番号が表示されます。

デバイスのアイコンを確認するには

ドライバが正しくインストールされると、デバイスのアイコンも同時にインストールされます。L-03C のアイコンが正しく表示されているかどうかを確認する方法を説明します。

- Windows XP、および、Windows Vista はデバイスアイコン機能には対応していません。

① **FOMA 端末とパソコンを接続する**
パソコンが FOMA 端末を認識すると、ポップアップが出てドライバがインストールされます。
- 接続方法→ P5
- FOMA 端末の電源が入っている状態で接続してください。

② **「（スタート）」▶「デバイスとプリンター」をクリックする**
パソコンのデバイスとプリンター情報が表示されます。FOMA 端末のデバイス情報とデバイスアイコンが正しく表示されているかを確認します。

L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

L-03C 通信設定ファイルのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行います。

- L-03C 通信設定ファイルのアンインストールは、必ずFOMA 端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P6）を参照してください。

例：Windows 7 の場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックする

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

■ Windows Vista の場合
「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックします。

■ Windows XP の場合
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックします。

2 「FOMA L03C USB」を選択▶「アンインストールと変更」をクリックする

■ Windows Vista の場合
「FOMA L03C USB」を選択▶「アンインストールと変更」▶［続行］をクリックします。

■ Windows XP の場合
「FOMA L03C USB」を選択▶「変更と削除」をクリックします。

3 ［開始］をクリックする

4 アンインストールの確認画面で［OK］をクリックする

アンインストールが終了します。

Bluetooth 通信を準備する

Bluetooth 通信対応パソコンと FOMA 端末をワイヤレス接続し、データ通信を行います。

パソコンを FOMA 端末に登録し接続する

はじめて FOMA 端末に接続するパソコンの場合、パソコンを FOMA 端末に登録します。

1 MENU ▶「Bluetooth」▶「ダイヤルアップ登録待受」

FOMA 端末が接続待機状態となり、ディスプレイに「(青色)」が点灯します。
約 5 分間接続がなかった場合は、自動的に接続待機は解除されます。

2 パソコンから Bluetooth デバイスの検索と機器登録を行う

FOMA 端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
パソコンの操作方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 FOMA 端末に機器登録するかどうかのメッセージが表示されたら「YES」

4 Bluetooth パスキーを入力 ▶「OK」

パソコンが機器登録され、パソコンと FOMA 端末がワイヤレスで接続されます。接続が完了するとディスプレイに「(青色)」が点滅します。

■ 登録済のパソコンと接続する場合
FOMA 端末から「ダイヤルアップ登録待機」を選択後、パソコンから接続操作を行うと、FOMA 端末に接続できます。
「Bluetooth」から「接続待機」を選択し、「ダイヤルアップ」を接続待機状態にしているときにパソコンから接続操作を行った場合も接続可能です。

モデムを確認する

通信の設定を行う前に、ご使用になるモデム名やダイヤルアップ接続用に設定された COM ポート番号を確認します。

例：Windows 7 の場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックする

■ Windows Vista の場合
「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックします。
■ Windows XP の場合
「スタート」▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックします。

2 「デバイスマネージャー」をクリックする

ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
■ Windows Vista の場合
「デバイスマネージャ」をクリックします。
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
■ Windows XP の場合
「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします

3 各デバイスをクリックしてモデム名または COM ポート番号を確認する

「ポート（COM と LPT)」、「モデム」の下にモデム名または COM ポート番号が表示されています。

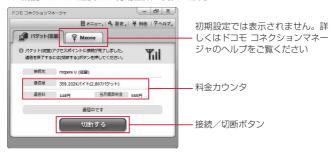
ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 MENU ▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」

2 接続中の Bluetooth 機器をタッチ ▶「接続」▶「ダイヤルアップ」▶「YES」

ドコモ コネクションマネージャについて

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。「mopera U」のお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（「mopera U」など）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

＜従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について＞

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード（例：アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート）などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。なお、本 FOMA 端末をパソコンなどに USB ケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA のパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

＜定額データプランのご利用について＞

- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

＜ mopera のご利用について＞

- 接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

① FOMA 端末とデータ通信用 USB ケーブル（試供品）を用意する
② サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する
③ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する
・「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→ P13

Internet Explorer の設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorer のインターネットオプションで、接続の設定を［ダイヤルしない］に設定してください。

① Internet Explorer を起動し、［ツール］▶［インターネットオプション］を選択する
② ［接続］タブを選択し、［ダイヤルしない］を選択する
③ ［OK］をクリックする

お知らせ

<ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について>

本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。
必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

■ 同時利用いただく必要のないソフト
- mopera U かんたんスタート
- U かんたん接続設定ソフト
- FOMA PC 設定ソフト
- FOMA バイトカウンタ

また、本ソフトで Mzone（ドコモ公衆無線 LAN サービス）を利用する場合は、以下の公衆無線 LAN 接続ソフトはアンインストールを行ってください。
※以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでの Mzone 接続はご利用いただけません。
- U 公衆無線 LAN ユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線 LAN ユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線 LAN ユーティリティプログラム

1 ドコモ コネクションマネージャを使用するユーザーでログオンする

■ **Windows 7 ／ Windows Vista の場合**
管理者アカウントが必要です。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、インストールの途中で、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

■ **Windows XP の場合**
Administrators グループに所属しているユーザーや「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンします。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了する

ウイルス対策ソフトを含む、Windows 上に常駐しているプログラムも終了します。
- 例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、［閉じる］または［終了］を選択します。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 L-03C 用 CD-ROM の案内に従ってインストーラーを起動する

「インターネット接続」を選択し、「本 CD-ROM からの FOMA データ通信の設定方法」にある「③ ドコモ コネクションマネージャのインストール」から「インストール」を選択します。

お知らせ

- Windows XP で、MSXML6・Wireless LAN API が環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは［Install］ボタンを押して、MSXML6・Wireless LAN API をインストールします。MSXML6・Wireless LAN API のインストール完了後、Windows を再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

2 Windows 7 の場合は［はい］を、Windows Vista の場合は［続行］をクリックする

- Windows XP の場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。

Windows 7

Windows Vista

3 ［次へ］をクリックする

4 注意事項を必ず確認のうえ、［次へ］をクリックする

5 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする

6 インストール先のフォルダを確認して、［次へ］をクリックする

7 ［インストール］をクリックする

インストールがはじまります。

8 ［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 「（スタート）」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックする

ドコモ コネクションマネージャを起動します。

■ Windows Vista の場合

「（スタート）」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

■ Windows XP の場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリックします。

2 初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示される

以降はソフトの案内に従って操作･設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。

詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
  通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの［切断する］ボタンで通信を切断してください。
  OS アップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使用せずに、パケット通信のダイヤルアップ接続を設定する方法について説明します。

接続先（APN）を設定する

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大 11 件設定でき、登録番号（cid）で管理します。
設定には､AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows 標準添付の｢ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- お買い上げ時、登録番号（cid）1 には mopera.ne.jp、2 には mopera.net、3 には mopera.net、4 には mpr.ex-pkt.net が設定されていますので、接続先を設定するときは、5 ～ 11 に設定してください。
- Windows 7、および、Windows Vista は「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、および、Windows Vista で設定する場合は、Windows 7、および、Windows Vista に対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。
- 「mopera U」に接続する場合は、接続先番号を「*99***3#」に、「mopera」に接続する場合は、接続先番号を「*99***1#」にすると、簡単に「mopera U」または「mopera」を利用することができます。
- 「mopera U」「mopera」以外の接続先（APN）については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例：Windows XP の場合

1 FOMA 端末とパソコンを接続する

- 接続方法→ P5

2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶［OK］をクリックする

4 「電話番号」欄に実在しない電話番号（「0」など）を入力▶「接続方法」に「FOMA L03C」と表示されていることを確認▶［OK］をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、FOMA端末のモデム名を確認して、選択してください。→P8

5 接続画面で［キャンセル］をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

6 接続先（APN）を入力▶↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP type>","<APN>" ↵ の形式で入力します。

<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。
入力後、「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

```
AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.com"
OK
_
```

cid5にPDP typeがPPP、APNがXXX.comの接続先を登録する場合

cid ：5～11の内の任意の番号を入力します。
※既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。
PDP type ：接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して、" "で囲んで入力します。
APN ：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1 ↵ を入力してください。

■ 指定したcidの接続先（APN）の設定をリセットする場合
AT+CGDCONT=<cid> ↵ を入力します。

■ 設定されている接続先（APN）を確認する場合
AT+CGDCONT? ↵ を入力します。

7 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

8 切断の確認画面で［はい］をクリック▶保存の確認画面で［いいえ］をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先（APN）の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時に接続先に発信者番号を通知するかどうかを設定できます。ここでは、AT コマンド（＊ DGPIR コマンド→ P29）を使って、接続する前に設定する方法を説明します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には、十分ご注意ください。

1 「接続先（APN）を設定する」（P17）の操作 1 ～ 5 を行う

ハイパーターミナルが起動します。

2 発信者番号の通知（186）／非通知（184）をAT コマンドで設定する

AT ＊ DGPIR=<n> の形式で以下のように入力します。
入力後、「OK」と表示されれば、通知／非通知の設定は完了です。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1 ↵ を入力してください。

■ 発信者番号を非通知にする場合
AT ＊ DGPIR=1 ↵
発信／着信応答時に自動的に 184 が付きます。

■ 発信者番号を通知する場合
AT ＊ DGPIR=2 ↵
発信／着信応答時に自動的に 186 が付きます。

■ ＊ DGPIR コマンドによる通知／非通知の設定を初期値（設定なし）に戻す場合
AT ＊ DGPIR=0 ↵

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

接続先番号による発信者番号の通知／非通知の設定について

ダイヤルアップネットワークの設定時（P20）に接続先番号に 186（通知）／ 184（非通知）を付けても、発信者番号の通知／非通知を設定できます。
接続先番号、および＊ DGPIR コマンドの各設定による発信者番号の通知／非通知の状態は以下のようになります。

接続先番号の設定（cid=3 の場合）	＊ DGPIR コマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊ 99 ＊＊＊ 3 #	通知	非通知	通知
184 ＊ 99 ＊＊＊ 3 #	非通知（接続先番号の設定（184）が優先されます）		
186 ＊ 99 ＊＊＊ 3 #	通知（接続先番号の設定（186）が優先されます）		

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パソコンから通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定をします。

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=3 に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

Windows 7 で設定する場合

1 **「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする**

2 **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする**

3 **「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択 ▶［次へ］をクリックする**

4 **モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L03C」をクリックする**

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 **各種設定を行い、［接続］をクリックする**

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

6 **「（接続名）に接続中 ...」画面で［スキップ］をクリックする**

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

7 **［閉じる］をクリックする**

8 「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする

9 「アダプターの設定の変更」▶ 作成したダイヤルアップのアイコンを選択 ▶ 右クリックして「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブの画面で設定を確認する

パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA L03C」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

11 「ネットワーク」タブをクリック ▶ 各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）」にチェックを付けます。

「QoS パケット スケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IP を設定する場合は、［プロパティ］をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

12 「オプション」タブをクリック ▶ ［PPP 設定］をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す ▶ ［OK］をクリックする

14 「オプション」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows Vista で設定する場合

1 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択▶［次へ］をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L03C」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 各種設定を行い、［接続］をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

6 「（接続名）に接続中 ...」画面で［スキップ］をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- ［スキップ］をクリックしない場合、インターネットに接続されますのでご注意ください。

7 「接続をセットアップします」▶［閉じる］をクリックする

8 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブの画面で設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA L03C」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

11 「ネットワーク」タブをクリック ▶ 各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」にチェックを付けます。

「QoS パケット スケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IP を設定する場合は、［プロパティ］をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

12 「オプション」タブをクリック ▶ ［PPP 設定］をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す ▶ ［OK］をクリックする

14 「オプション」タブの画面で［OK］をクリックする

Windows XP で設定する場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2 新しい接続ウィザード画面で［次へ］をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶［次へ］をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶［次へ］をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム－ FOMA L03C」を選択▶［次へ］をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」欄に任意の名前を入力▶［次へ］をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶［次へ］をクリックする

9 接続の利用範囲を選択▶［次へ］をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力▶［次へ］をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。

11 ［完了］をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「この接続の設定を変更する」をクリックする

14 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA L03C」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

15「ネットワーク」タブをクリック ▶ 各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックを付けます。「QoS パケット スケジューラ」の設定は変更できません。

16［設定］をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す ▶［OK］をクリックする

18「ネットワーク」タブの画面で［OK］をクリックする

通信を行う

ドコモ コネクションマネージャを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前に FOMA 端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→ P5
- 通信するときは、設定に使用した FOMA 端末を接続してください。異なる FOMA 端末を接続した場合は、L-03C 通信設定ファイルの再インストールが必要になる場合があります。

例：Windows 7 の場合

1「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」▶「アダプターの設定の変更」を順にクリック ▶ 設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

■ **Windows Vista の場合**
「(スタート)」▶「接続先」を順にクリック ▶ 設定した接続先を選択 ▶［接続］をクリックします。

■ **Windows XP の場合**
「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック ▶ 設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力 ▶［ダイヤル］をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OS の種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

例：Windows 7 の場合

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2 ［切断］をクリックする

通信が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

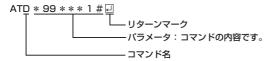
AT コマンドについて

パソコンで FOMA 端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトが AT コマンドを発行するので、AT コマンドを意識する必要はありません。独自に AT コマンドを入力して FOMA 端末を制御したい場合に利用します。

AT コマンドの入力形式

AT コマンドの入力はハイパーターミナルなどの通信ソフトのターミナルモード画面で行います。

- ターミナルモードとは、パソコンで入力された文字が通信ポートに接続されている回線に送信されるモードのことを示します。

入力例

- AT コマンドは、コマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず 1 行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から↵の直前の文字までが「1 行」になります。AT コマンドも含めて 256 文字まで入力できます。
- AT コマンドは、コマンドに続くパラメータも含めて、必ず半角英数字で入力してください。
- 入力した文字が表示されない場合は、ATE ↵を入力してください。

AT コマンド一覧

L-03C Modem で使用できる AT コマンドです。

- 以下のコマンドは、入力可能ですが機能しない無効なコマンドです。
  - AT（AT のみ入力）
  - ATS0（自動着信するまでの呼び出し回数設定）
  - ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
  - ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
  - ATS10（自動切断までの遅延時間設定）

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/	直前に実行した AT コマンドを再実行します。入力の最後にキャリッジリターン（CR）の入力は不要です。	−	A/ OK
AT%V	FOMA 端末のバージョンを表示します。	−	AT%V L03C- MSM7277- VXXX-XXX-XX- XXXX-DCM-JP X [XXX XX 2010 XX:XX:XX] OK
AT&C<n>	DTE への回路 CD 信号の動作条件を選択します。	n=0： CD は常に ON n=1： CD は相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT&D<n>	DTE から受け取る回路 ER 信号がオンまたはオフへ遷移したときの動作を選択します。	n=0： ER の状態を無視する（常に ON とみなします） n=2： 回線を切断し ER が ON から OFF に変化すると、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D2 OK
AT&E<n>	区間の速度を設定します。	n=0 のみ指定可能（無線区間のみサポート）（省略可）	－
AT&F<n>	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断の処理が行われます。	n=0 のみ指定可能（省略可）	－
AT&W<n>	現在の設定値を FOMA 端末に記憶します。	n=0 のみ指定可能（省略可）	－
AT ＊ DANTE	FOMA 端末の電波状態（アンテナマークの棒の本数）を表示します。	リザルトの書式： ＊ DANTE:<m> m=0：圏外の状態 m=1：アンテナが 0 本または 1 本表示される状態 m=2：アンテナが 2 本表示される状態 m=3：アンテナが 3 本表示される状態	AT ＊ DANTE ＊ DANTE: 3 OK
AT ＊ DGPIR=<n>	パケット通信時に、接続先への発信者番号の通知／非通知を設定します。 本コマンドの設定は、発信時に有効です。 なお、ダイヤルアップネットワークの設定で、接続先の番号に 184（非通知）／186（通知）を付けても設定できます。 → P20	n=0： APN の設定のまま接続 n=1： APN に 184（非通知）を付加して接続 n=2： APN に 186（通知）を付加して接続 AT ＊ DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT ＊ DGPIR=0 OK AT ＊ DGPIR? ＊ DGPIR: 0 OK
AT ＊ DRPW	FOMA 端末の受信電力指標値を表示します（最小値～最大値：0 ～ 75）。	－	AT ＊ DRPW ＊ DRPW: 25 OK
AT+CACM="<passwd>"	FOMA カードに記録される累積課金の値をリセットします。	passwd:PIN2 コード 入力した PIN2 コードが正しかった場合は、累積課金の値をリセットします。	(PIN2 コードとして「1234」を入力) AT+CACM="1234" OK
AT+CBC	FOMA 端末の電池残量を表示します。	リザルトの書式： ＋ CBC:<bcs>,<bcl> bcs=0： 電池パックより電源が供給されている状態 bcs=1： 電池パックより電源が供給されていない状態 bcs=2： FOMA 端末に電池パックが接続されていない状態 bcs=3： 電源供給エラーによる FOMA 端末から発信不可の状態 bcl　： 電池残量を 0 ～ 100 の数値で表示する	AT+CBC +CBC: 0,70 OK
AT+CGDCONT	パケット通信の接続先（APN）を設定します。	P35 をご参照ください。	P35をご参照ください。

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信の接続確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうか判定する基準値を登録します。	P35 をご参照ください。	P36をご参照ください。
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワーク側へ要求する QoS（サービス品質）を設定します。	P36 をご参照ください。	P36をご参照ください。
AT+CGMR	FOMA 端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR XXXXXXXXXXX XXXXX OK
AT+CGREG=<n>	ネットワークへの登録状態を通知するかどうかを設定します。ネットワークから応答される通知情報に応じて圏内または圏外を表示します。	n=0： 通知なし（初期値） n=1： 通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CGREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CGREG:<n>,<stat> n： 通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0：パケット通信圏外 stat=1：パケット通信圏内 stat=4：不明 stat=5：パケット通信圏内（ローミング時）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定した場合） AT+CGREG? +CGREG: 1,0 OK （パケット通信圏外の場合）
AT+CGSN	FOMA 端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN XXXXXXXXXXX XXXX OK

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CMEE=<n>	FOMA 端末のエラーレポートの有無を設定します。	n=0：通常の ERROR リザルトを用いる（初期値） n=1：+CME ERROR:<err> リザルトコードを使用し、<err> は数値を用いる n=2：+CME ERROR:<err> リザルトコードを使用し、<err> は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記は誤った PIN ロック解除コード、および PIN1/PIN2 コードを入力した場合の表示例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CPIN="12345678","1234" ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR : 16 AT+CMEE=2 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR : incorrect password
AT+CNUM	FOMA 端末の自局電話番号を表示します。	リザルトの書式： +CNUM:,<number>,<type> number：自局電話番号 type=129 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含まない type=145 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含む	AT+CNUM +CNUM: ,"090XXXXXXXX",129 OK
AT+CPAS	FOMA 端末への制御信号が使用できる状態かどうかを表示します。	リザルトの書式： + CPAS:<pas> pas 0:FOMA 端末への制御信号の送受信が可能	AT+CPAS +CPAS: 0 OK
AT+CPIN="<pin>"[,"<newpin>"]	FOMA 端末に PIN コードを入力します。	PIN1/PIN2/PIN ロック解除コードを入力します。 AT+CPIN? ：PIN1 または PIN2 コードの状態を示します。リザルトコードについてはP37を参照してください。 ※ AT+CPIN によって PIN 認証は可能ですが、FOMA 端末には表示されません。ご注意ください。	AT+CPIN? +CPIN：SIM PIN OK （PIN1 または PIN2 コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="1234" OK （PIN ロック解除コードとして「12345678」、新しい PIN1 または PIN2 コードとして「1234」を入力） AT+CPIN="12345678","1234" OK

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CPUC="<currency>","<ppu>"[,"<Passwd>"]	FOMA カードの通貨テーブルを書き換えます。	passwd：PIN2 コード ※ 入力した PIN2 コードが誤っていた場合は、「ERROR」が表示されます。 AT+CPUC? ：現在の設定値を表示する	(PIN2 コードとして「1234」を入力) AT+CPUC ="YEN","0.2","1234" OK AT+CPUC? +CPUC: "YEN", "0.2" OK AT+CPUC =? OK
AT+CREG=<n>	圏内／圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します（パソコンのOSによっては設定できない場合があります）。	n=0： 通知なし（初期値） n=1： 通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CREG:<n>,<stat> n： 通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0：音声圏外 stat=1：音声圏内 stat=4：不明 stat=5：音声圏内（ローミング時）	AT+CREG=1 OK (通知ありに設定) AT+CREG? +CREG:1,0 OK (圏外の場合) +CREG:1 (圏外から圏内に移動した場合)
AT+FCLASS=<n>	FOMA 端末がサポートする通信種別を設定します。	n=0： データのみサポート（初期値） AT+FCLASS? ：現在の設定値を表示する	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA 端末の AT コマンドのサポート能力を表示します。	−	AT+GCAP +GCAP: +CGSM, +FCLASS,+W OK
AT+GMI	製造元名を表示します。	−	AT+GMI LG Electronics Inc OK
AT+GMM	FOMA 端末の製品名を表示します。	−	AT+GMM FOMA L03C OK
AT+GMR	FOMA 端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR L03C-MSM7277-VXXX-XXX-XX-XXXX-DCM-JP X [XXX XX 2010 XX:XX:XX] OK

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+IFC=<n>,<m>	フロー制御方式を設定します。	n: DCE by DTE m:DTE by DCE <n>,<m> のパラメータ 0: フロー制御なし 1: XON/XOFF フロー制御 2: RS/CS（RTS/CTS）フロー制御（初期値） AT+IFC? ：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC: 2,2 OK
AT+WS46=<n>	FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12:GSM n=22:3G（W-CDMA） n=25: 自動切り替え（初期値） AT+WS46? ：現在の設定値を表示する	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
AT ¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	－	AT ¥S E0 Q0 V1 X1 &C0 &D0 &E0 ¥V1 S000=000 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 OK
AT ¥V<n>	拡張リザルトコード使用有無を設定します。	n=0 のみ指定可能（拡張リザルトコードをサポートしない）（省略可）	－
ATD	発信処理を行います。	入力の書式： ATD ＊ 99 ＊＊＊ <cid># cid:+CGDCONT コマンドで設定した APN の登録番号（cid）を 1 ～ 11 で入力します。 ・ cid を省略して「ATD*99***#」と入力すると、自動的に cid1 に登録されている APN に発信されます。	ATD*99***3# CONNECT
ATE<n>	コマンドモードのときにDTE に対するエコーバックの有無を指定します。	n=0： エコーバックなし n=1： エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示する n=1： 製品名を表示する n=2： FOMA 端末のバージョンを表示する n=3： ACMP 信号の各要素を表示する n=4： FOMA 端末の通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA L03C OK

AT コマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATQ<n>	DTE へのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0： 表示する（初期値） n=1： 表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、「OK」は表示されない）
ATS3=<n>	キャリッジリターン（CR）キャラクタを設定します。	n=13： 初期値（13 のみ設定できます） ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=<n>	ラインフィード（LF）キャラクタを設定します。	n=10： 初期値（10 のみ設定できます） ATS4?：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8： 初期値（8 のみ設定できます） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV<n>	すべてのリザルトコードの表示を数字または英文字に設定します。	n=0： リザルトコードを数値で表示する n=1： リザルトコードを文字で表示する（初期値）	ATV1 OK
ATX<n>	接続時の CONNECT 表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンを検出します。	n=0： ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1： ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2： ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3： ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4： ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	AT コマンドの設定を、不揮発メモリの内容にリセットします。通信中にこのコマンドが入力された場合は、設定はリセットされません。	－	ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- 概要

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式

  +CGDCONT=［<cid>［,"<PDP type>"［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明

  <cid>[※1]：1～11

  ＜PDP type＞[※2]：PPPまたはIP

  <APN>[※3]：任意

  ※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～11が登録できます。

  なお、<cid>=1には<PDP_type>=PPP,<APN>=mopera.ne.jp、<cid>=2には<PDP_type>=PPP,<APN>=mopera.net、<cid>=3には<PDP_type>=IP,<APN>=mopera.net、<cid>=4には<PDP_type>=PPP,<APN>=mpr.ex-pkt.netが初期値として登録されています。

  ※2 ＜PDP type>は、パケット通信の接続方式です。接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して入力します。

  ※3 <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
- コマンド実行例

  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cid5に登録する場合）

  AT+CGDCONT=5,"IP","abc"

  OK
- パラメータを省略した場合の動作

  AT+CGDCONT=

  ：すべての<cid>を初期値に戻します。

  AT+CGDCONT=<cid>

  ：指定された<cid>を初期値に戻します。

  AT+CGDCONT=?

  ：設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGDCONT?

  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- 概要

  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式

  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明

  <cid>[※1]：1～11

  <Maximum bitrate UL>[※2]：なし（初期値）または2,048

  <Maximum bitrate DL>[※2]：なし（初期値）または7,232

  ※1 <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。

  ※2 <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし(初期値)の場合はすべての速度を許容しますが、2,048および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

・コマンド実行例
（1）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cid が 5 の場合）
AT+CGEQMIN=5
OK
（2）上り 2,048kbps ／下り 7,232kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（cid が 5 の場合）
AT+CGEQMIN=5,,2048,7232
OK
（3）上り 2,048kbps ／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cid が 5 の場合）
AT+CGEQMIN=5,,2048
OK
（4）上りすべての速度／下り 7,232kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（cid が 6 の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,7232
OK
・パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQMIN=
：すべての <cid> を初期値に戻します。
AT+CGEQMIN=<cid>
：指定された <cid> を初期値に戻します。
AT+CGEQMIN=?
：設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQMIN?
：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ= ［パラメータ］

・概要
パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。
次のコマンド実行例に記載されている 1 種類のみ設定でき、初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&F によるリセットは行われません。
・書式
+CGEQREQ= ［<cid>］
・パラメータ説明
<cid>※：1 ～ 11
※ <cid> は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
・コマンド実行例
上り 2,048kbps ／下り 7,232kbps の速度で接続を要求する場合のコマンド（cid が 5 の場合）
AT+CGEQREQ=5,5,2048,7232
OK
・パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQREQ=
：すべての <cid> を初期値に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
：指定された <cid> を初期値に設定します。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
15	SIM wrong	FOMA カード以外の SIM（NTT ドコモ以外の IC カード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが誤っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了（タイムアウト）
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。

お知らせ

- ATVn コマンド（P33）が n=1 に設定されている場合は文字表示（初期値）、n=0 に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ AT+CPIN? のリザルトコード

FOMA 端末の状態	リザルトコード
入力待ち	+CPIN:SIM PIN（PIN1 コードの場合） +CPIN:SIM PIN2（PIN2 コードの場合）
PIN ロック解除コード入力待ち	+CPIN:SIM PUK（PIN1 コードの場合） +CPIN:SIM PUK2（PIN2 コードの場合）
PIN コード認証済み	+CPIN:READY
不適切なコマンドが入力された状態	+CME ERROR:operation not allowed
コマンド誤入力	ERROR

L-03C 区点コード一覧

区点コード一覧

- 区点コード一覧の表示は、ディスプレイの表示と見えかたが異なる場合があります。

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る～れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			